

な～に谷っ戸ん田

2009年度 活動記録

<http://www.yattonda.com>

第1回 『雑木林の整備（モヤの粉砕片付けと下草刈り）』

■と き：平成21年4月4日（土） 8：30～17：30

■ところ：な～に谷っ戸ん田の上の雑木林

■天 候：曇り時々晴れ

■参加者：石田、高田妻、久保、松本妻、高見、柴田、磯（午前）
高橋、田中、佐々木夫婦＋優くん、儀藤（午前）、加藤、吉田（午後）
野地（ハンモックカフェ）、鈴木（園主）、霧生

■活動内容：

午前 谷っ戸ん田の上から尾根にかけての雑木林の片付け

- ・ レンタルした強力チップーシュレッダーを尾根付近まで自走運搬・設置
- ・ モヤを拾い集め、尾根付近に山にする（レーキ、熊手、鎌、ガーデンバッグなど）
- ・ 刈り残しの笹や雑木の刈り払い（刈り払い機3台）
- ・ チップーにてモヤの粉砕
- ・ アパッチ族と称して、軽トラで私道付近のモヤを集めて広場に下ろす
- ・ ごみ拾い

※ 8時半に集合して作業を開始した方は園主を含め8人、お疲れ様でした。

お昼 広場でハンモック・ランチ 野地さん！おいしかったです！ありがとうございます！

- ・ ホットベールと野菜のスープ
- ・ オレンジケーキ、梅酒ケーキ、コーヒー、紅茶等

※広場のまわりの雑木林が整備されて日当たりが良くなったせいか、去年はそれほど見かけなかった堇や蒲公英（カントウタンポポを含む）の花が沢山咲いていました。

午後 引き続き、尾根をはさんだ北側と鉄塔周辺を中心にの雑木林の草刈と片付け等

- ・ 鉄塔付近の笹や雑木の刈り払い
- ・ モヤ等を拾い集め尾根付近に山にする
- ・ 昨年伐採したままになっていた笹やモヤ等をチップーで粉砕
- ・ アパッチ族が運んだ軽トラ3台分の広場のモヤをチップーで粉砕
- ・ 機材や道具の片付け

※広場での作業中、チップーが突然ストップ。風向きのせいか、粉砕したクズが空気の取り入れフィルターを塞ぎ、チップー内部の温度が上がりがすぎたことが理由だったらしく、10分程度休ませたところで無事エンジンがかかり一安堵という場面がありました。

※雑木林全体が驚くほどすっきりとして、明るくなりました。芽吹きの季語は「山笑う」です。空き缶やごみ等が大きなガーデンバック一つ分集まり、石田さんが車で回収してくださいました。

※ 最後に、沢庵とハウスの中のカブ沢山を園主よりいただき解散しました。

☆今回の作業は、農のあるまちづくり協定の景観保全の取り組みとなります。（たぶん）

■次 回： 4月18日（土）9：30～ 田起こし、種蒔き、その他

（記録：霧生）



チップー登場



もの凄い音を立て
ガンガン粉碎していく



《親子で仲良くハンモックランチ》
ホットベークルと野菜スープ



粉碎はチップー
かき集めるのはやはり人手



雑木林がこんなに
綺麗になりました



仕上げは堆肥へ混ぜ込む

第2回 『田起こし、種まき、竹の子！など』

■と き：平成21年4月18日（土） 9：30～18：00

■ところ：な～に谷っ戸ん田とテツさんの小屋

■天 候：曇り

■参加者：石田、高田妻、久保、高見（午前）、柴田、高橋、田中、佐々木妻＋優くん、加藤、吉田、百崎（母）＋まるちゃん、霧生、麻場、池田（午前）、大塚（旧姓山村）、野地（ハンモックカフェ）、鈴木（園主）

■活動内容：

午前 田起こし

- ・ スコップと鍬で畦の切り出し
- ・ クロと田まわりの草刈り（草刈り機2台使用）
- ・ 田起こし（テラーとトラクター各1台使用）

道具・機械：鍬、スコップ、手鎌、草刈り機（2台）、ひも
手押しテラー（9馬力）、トラクター（9馬力）

- ・ 雑木林のゴミ拾い。大塚さんをご案内（協定書の関係）
- ・ テツさんは大きなトラクターで畑を草退治しながらうなっていた

お昼 広場でハンモック・ランチ 野地さん！おいしかったです！ありがとうございます！

- ・ 春キャベツとアンチョビ丼
- ・ 抹茶小豆、マフィン等

※午前の中休みに広場のまわりの雑木林を散策、キンランがほころんでいました。空き缶などゴミも拾いました。捨てられていた自転車のハンドルは優くんがおもちゃにリユース。

午後 引き続きの田起こしとネギ畑の草取り、テツさんの小屋で種まき機のセッティング

- ・ 引き続きテラーとトラクターで田起こし
- ・ ネギ畑の草取り、手鎌と手押し車使用
- ・ 種もみをムシロに広げて乾かす。種まき機械のセッティング

15時から全員集合してトレーに種を蒔く

赤米（ベニロマン）21枚、コシヒカリ 72枚を完成させ、ハウスにて保管芽出し。

17時からタケノコ掘り

大中小合わせて30個の収穫。園主よりいただき山分けして持ち帰る。

※ 最後に、沢庵を園主よりいただき解散しました。

■次 回： 4月25日（土）9：30～ 苗トレーの移動セッティング、その他

（記録：高橋広明）



3年目の谷っ戸ん田を楽しみましょう！！

ネギ畑の草取り

「大繁盛ですねえ」
「いつかテレビに出るんじゃないか」



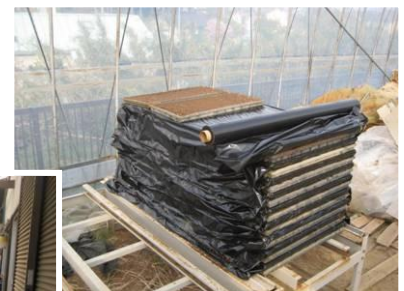
《ハンモックランチ》
春キャベツとアンチョビ丼



な～に谷っ戸ん田は
なぜか女性優先です



3年目で種蒔きも
手際よくなってきました



恒例の筍掘り・・・穴ばっかり掘っている人も

第3回 『苗ならべ、ハウス整理、トマト作業』

■と き：平成21年4月25日（土） 9：30～16：30

■ところ：テツさんのビニールハウス

■天 候：雨

■参加者：

高田妻、久保、高見、柴田、加藤、松本夫妻、百崎夫妻＋まるちゃん、霧生、麻場（午前）、磯、てつさん（園主）

■活動内容：

[午前]

●苗トレーの移動

前回種蒔きしたトレーの様子を確認。無事発芽しています。

最初にハウスの草取りをする。

マルチ用ビニールを外し、ハウス内に並べ、寒冷紗をかける。

赤米 21 枚、コシヒカリ 72 枚。

●ハウス内作業の手伝い

二手に分かれ、テツさんのビニールハウス作業の手伝いをしました。

・（上のハウスで）伸びすぎたカブを片づけ、全面の草取り。

・（下のハウスで）ミョウガ用の畑にわらをしく作業。

[お昼]

ハンモックカフェが開催されず、かつ雨降りとあって、テツさん小屋で各自ほそぼそと昼食。

身体が濡れて寒いです。テツさんから、ストーブつければよかったのにといわれました。

[午後]

●トマト苗のわき芽かき、つるし

テツさんハウスの手伝い。

寒がっていた我々をみかねてくださったのか、温かいトマトハウスでの作業。

最初に、予めトマト苗が置いてある苗床に左右から黒ビニールマルチで覆い、苗だけが出るようにホチキスで留める。（以前イチゴでもやりましたね）

20～40cm に伸びたトマト苗のわき芽をかき、ビニール紐につるしました。

16:00 ごろ作業終了。小屋に戻って解散。

松本さんからお土産に水戸納豆せんべいをいただきました。

てつさんから温かい飲み物とお菓子の差し入れがありました。

■次 回：

平成21年5月2日（土） 9：30～

（記録：磯直行）



雨の一日、まずは1つ目のハウスで苗ならべ



2つ目のハウスは大掃除（左：作業前、右：作業後）



3つ目のハウスはトマト苗のわき芽かき&つるし



後日、まるちゃんがイラストを送ってくれました

第4回 『荒しろかき&草取り』

■と き：平成21年5月2日（土） 9：30～17：00

■ところ：な～に谷っ戸ん田、田んぼの上のネギ畑及び入口付近の畑（+ビニールハウス）

■天 候：快晴

■参加者：赤井、麻場（午前）、池田（～14：00）、石田、磯、加藤（午前）、儀藤、霧生、佐々木夫妻＋
優くん、柴田、高田妻、高見、福富、藤田（午前）、松本夫妻、吉田、てつさん（園主）

※祝、秋山さん母子、谷戸田デビュー。香月ちゃん（1歳）で～す。

■活動内容：

午前

●田んぼ

- ・肥料散布（インドネシア産天然有機質りん酸肥料『グァノ』顆粒 20kg × 4袋）。
- ・水を引き入れた場所から荒代掻き。作業開始時には赤米用田んぼにしか水が回っていなかったの、まずこちらから耕耘機（5馬力のテラーにかご車と八つ歯をつけたもの）で攪拌。
- ・暗渠排水管 止水弁補修部の埋め戻し。
- ・畦周りの草刈り。田んぼ畦畔及び外周斜面部を刈り払い機と手鎌で刈り取り。

●田んぼの上の畑

- ・ヤマイモにワラを敷く。
- ・長ネギ畑の除草、高度化成肥料を施肥後、鍬を使用しての土寄せ。

●堆肥切り替えし

- ・テツさんがバックホウをスクリーンバケットに取り替えて堆肥の山を切り替えし。

道具・機械：鍬、スコップ、手鎌、草刈り機(1台)、手押しテラー(5馬力)、トラクター(9馬力)

お昼 ハンモックカフェが休業のため、広場で各自昼食。

※休み時間に広場まわりの雑木林を散策、キンランがまだ残っていました。ハウチャクソウに似た山野草が咲き始めました。

午後

●田んぼ：コシヒカリ田に水が回ったので、耕耘機に加えて小型トラクターで攪拌。

●谷戸入口付近の畑：玉ネギ畑の草取り。

●ビニールハウス：アスパラガス畑の草取りとアスパラ苗の補植。収穫少々。

●物置搬入：両開き1畳サイズの物置を引き取って戻り、広場脇に設置。

17:00 ごろ作業終了。

[差し入れ]

- ・吉田さんから、日光のお土産（杉の大木の切り株を模したバームクーヘン）。
- ・テツさんから、チョコレート、バナナチップ等。
- ・テツさんから差し入れのトマト苗（赤実、黄実）を希望者は持ち帰り。大根及びアスパラガスも。

■次 回：平成21年5月9日（土） 9：30～ クロ塗り、その他

[付録・余談]

- ・青大将が初お目見え、粗代かき後の水田を遊泳する様子を堪能しました。
- ・アスパラガスの苗を見ました。根の様子は掃除用モップの先のようなでした。
- ・グリーンがテツさんからトレンチャーを譲り受ける。
- ・皆さん、ハウスに並べ揃げた苗の状態を確認し忘れ？（石田さんを除く）

（記録：高見元久）



「やーい、へびだぞお」
「なんでへび持ってるの？なんで」

「女性達のように真っ直ぐ行かないなあ」



谷っ戸ん田が誇る女性達の勇姿



「ボクも女性には負けられない…
おっと傾いてきたあ」

第5回 『クロつけと代かき作業及びテツさんのお米種まき手伝い』

■と き：平成21年5月9日（土） 9：30～17：30

■ところ：な～に谷っ戸ん田、上の作業所前

■天 候：晴（とても気持ちの良い日差しとそよ風の吹く絶好の作業日和）

■参加者：麻場、上田、霧生、久保、柴田、高見、田中、松尾、松本夫妻、百崎父+まる、吉田、野地、石田（監督）、テツさん（園主）計16名

■活動内容：

午前

●田んぼ あぜぬり（クロつけ）と代かき

- ・田んぼに水をいれ、畔ぬり作業（鍬を使って塗り固める・手作業チームも）
- ・田んぼ脇の小川からポンプで水を揚げ、赤米田の方から水を入れる
- ・赤米田とコシヒカリ田の境の畔づくり（途中で堰を切りコシヒカリ田の方へも水を回す）
- ・小型トラクターや耕うん機などを使って代かき

道具・機械：鍬、手、トンボ、手押しテラー（5馬力）、トラクター（9馬力）

お昼 ハンモックカフェ開店 ランチメニューは春野菜と豆腐のカレー

※本当に心地よい昼をハンモックで過ごす

午後

●田んぼ

- ・ほぼ完全に水が回ったので、耕うん機に加えて小型トラクターで攪拌
- ・トンボや鍬を使って、均す
- ・仕上げに角材を二人で引いて、丁寧に均す

●テツさんの種まき手伝い

モチ米 24枚

夢つくし 14枚（コシヒカリとキヌヒカリ交配種）

コシヒカリ 81枚

紅ロマン 6枚（赤米）

カンニホ 14枚（赤米） 17:30 ごろ作業終了。

■次回：平成21年5月16日（土） 9：30～ 田植え

[付録・余談]

- ▼ あぜぬりはかなり大変。水を含みすぎドロドロになってしまうと、塗り固めることができず・・・適度な硬さを求められるのですが、難しい。テツさん曰く「足でかき回してしまう前にさっとやらないと」農作業は手際良さ！も求められると。
- ▼ これまで田んぼ脇の小川の管理は恩田の谷戸ファンクラブで行っていたそうです。が、なかなか手が回らず困ってみたいです。田んぼは水があつてのもの、ぜひ、谷っ戸ん田でも協力したいところ。

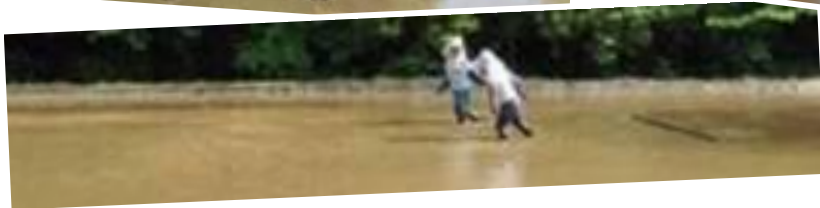
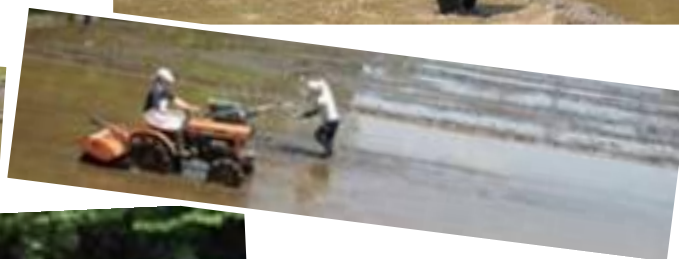
（記録：百崎満晴）



まる画伯によるイラスト
参加者全員が描かれているよ！！



ただひたすらに
田んぼを均していく



《ハンモックランチ》
春野菜と豆腐のカレー



2度目の種まき

第6回 『谷っ戸ん田の田植え及びテツさんの田畑の諸作業手伝い』

■と き：平成21年5月16日（土） 9：30～17：15

■ところ：な～に谷っ戸ん田、テツさんのハウス・十日市場の田んぼ

■天 候：曇り（何とか終了まで雨にはならず、暑くもなくの作業日和？動かないと寒い日）

■参加者：麻場（午前中）、石田、磯（午後～）、大塚（午後～）、霧生、久保、佐々木母子、柴田、高見、高橋、田中姉妹、松尾、松本夫婦、坂本（松本友人）、鶴岡親子4名（佐々木友人）野地、テツさん（園主）計24名

詳細：テツさんは8時前より段取り作業、石田さん、久保さんは8時半から準備作業、その後松本（3名）、高見さん、柴田さんが9時から参加。9時半に本作業前の朝礼―作業開始。鶴岡親子は午前の休憩前より参加。昼食後に磯さん、大塚さんが合流。

■活動内容：

午前

●田んぼ 田植え（2条用田植え機による機械植え）

- ・旧赤米側の田んぼからコシヒカリを植え付け（11時の休憩までに終了）
- ・休憩後、コシヒカリ田への田植え。並行して田植えの終わった箇所から肥料撒き（植え付け前の田んぼを、極力荒らさないため田植え後に撒く）

使用肥料：中川水耕2号（20kg）2袋・尿素入り窒素カリ化成2号（10kg）・水耕配合100号（10kg）

植え付け苗：コシヒカリ 25枚

お昼

ハンモックカフェ開店（ランチメニューはおむすびと粕汁の田植えランチ＋久保さん差し入れの行者大蒜の煮浸し）

※ハンモックで昼寝をするには少々寒い日で残念でした。

午後

●田んぼ

- ・午前の継続作業（コシヒカリ田への田植え・補植・肥料撒き）

●テツさんのハウス・田畑の作業手伝い（田植え終了後）

- ・トマトハウスの雑草取り、胡瓜ハウスでの下葉取りと弦巻紐での吊り上げ、こんにゃく芋の植え付け。
- ・十日市場の田んぼの畦・法面の草刈。

■次 回：平成21年5月30日（土） 9：30～

[付帯事項]

- ▼ 午前中の休憩時間に谷っ戸ん田の第3回総会を実施。（内容：OB会員について・ボランティア保険について他）
- ▼ 午後の休憩時にはテツさんより完熟トマト（桃太郎）の差し入れを頂く。作業後には初成りの胡瓜を頂く。トマトのあまりの美味しさに、帰り際テツさんから、別に譲ってもらう人達もあったほど。
- ▼ 石田さんの今週の苦言：農業に携わる人間が泥で汚れたと言ってはいけない。泥が付くと言うこと。作業は楽しく、笑顔と笑い声はOK。だけど、笑ってはいけないこともある。（稲苗が田植え機から落ちて壊れてしまった時や、こんにゃく芋の種を踏んでしまった時等、収穫のための命を傷つけてしまっても笑うものではない）

（記録：松本純）



《ハンモックランチ》
おむすびと粕汁



第7回 『田植えの補植・赤米手植え・その他の作業』

■と き：平成21年5月30日（土） 午前9：30～17：15

■ところ：田植え（堀ノ内、田奈農協裏、谷っ戸ん田）畑作業（恩田谷戸）トレイ洗浄（小屋の前）

■天 候：曇り（朝、小雨）日中はどうにかもちました。

■参加者：麻場・大野（麻場さんの友人、午前）・石田・加藤・霧生・柴田・久保・坂本・
佐々木夫婦と優聖・高田妻（午後）・高橋（午前）・高見・松本夫婦・吉田 計17名

■活動内容：

午前

● 3箇所に分かれて作業

- * 谷っ戸ん田：2週間前に植えたコシヒカリの補植
- * 堀ノ内：すじひき
- * 田奈農協裏：テツさんの田植え（乗用5条植機によるユメツクシ）の手伝い
- * 育苗トレイ洗浄

お昼

ハンモックカフェはお休み 残念！ハンモックに揺られて休憩したいと皆が口にしました。各自、弁当持参しました。話題の弁当がありました。

午後

● 2箇所に分かれて作業

- * 堀ノ内：赤米（ベニロマン、カンニホ）の手植え
→谷っ戸ん田入り口近くの大根の片付けとトレイを洗浄して解散。
- * 田奈農協裏：テツさんの田植え（乗用5条植機）の手伝い * 育苗トレイ洗浄等

△余談：シュレーゲルアオガエルの卵が、谷っ戸ん田の畔周辺に沢山あり、孵化が始まっていました。（ホウネンエビは見つからず）

△ 赤米のカンニホはぶんけつしないので多めに植え付けました。

△優聖の着替えは3着すべて、泥だらけになり、テツさんからズボンを頂きました。次回は本人がよければ丸裸？で田んぼに入れよう

△トレイ洗浄は手作業の流れ作業にて、付け置きがよろしいようでした。

■ 次 回：平成21年 6月13日（土）午前9：30～

（記録：佐々木利江／霧生）



シュレーゲルアオガエルの卵塊
田植えに合わせて産卵する



写真撮ってないで、
こっちおいでよ



赤米植えます
電車から見えるので緊張します



畑の整理もそろそろ始めないと…



ハンモックランチがないとき自家製なのだ。
どうだ、美味しそうだろう！



どうだ、カッコいいだろう。ロールスロイスかフェラーリって感じだぜ！
なに、動いてないって？ ちょっと、休憩しているだけだよ。

第8回 『田んぼの草取り・テツさんの畑、温室内の草取りなど』

■と き：平成21年6月13日（土） 午前9時30分～16時30分

■ところ：田んぼ（谷っ戸ん田）、温室（谷っ戸ん田小屋前）、ねぎ畑周辺

■天 候：くもり時々晴れ

■参加者：石田・磯・松尾・久保・霧生・高見・福富・松本夫妻・

佐々木夫妻&裸の優聖くん・百崎夫妻&まるちゃん・柴田・儀藤・藤田・野地河合・赤井・大塚・PARC自由学校起業科（21人）・加藤 計44人

■活動内容：

午前

●田んぼの草取り

稲は順調に育っていて、一安心。よく見ると小さな草が出ている。ヒエもちゃっかり出ている。ヒエ抜きをしながら田んぼの泥をかきまぜる。手作業でやっていたが、途中から田車が登場し、一気に効率が上がる。

PARC自由学校の皆さんの参加もあって、谷っ戸ん田はおおいにぎわい。ヌードの優聖くんがとても気持ち良さそう。うらやましい。まるちゃんはカエルに成長しつつあるオタマジャクシに夢中。大きな青大将が出現し、大騒ぎ。

※使用道具 田車3台

●畑の草取り

お屋 久しぶりの豆吉号の出動で、サラダサンドとミネストローネが大好評。野地さん&お友達の河合さん&走る儀藤さんも大忙し。お疲れ様でした。

午後

●温室2棟の草取り

●ねぎ畑周辺の草取り

●苗箱洗いなど

午後は草取りグループと苗箱洗いグループに分かれて作業する。

PARC自由学校の人々はグリーンの見学に。

若い人が多く、あちこちで会話が弾んだ一日でありました。

■次 回：平成21年6月20日（土） 午前9：30～

（記録：加藤彰）



豆吉号の今日の商品。色とりどりで美味しそう！



カルガモの足跡



「田んぼの見学会ではありませんよ。草取りをお願いしま〜す！」



今日の田んぼは賑やかだなあ



「ゆう君、気持ちいい？」
「うん、まるちゃんも裸になれば？」
「〇×△□・・・」



《ハンモックランチ》
赤米入りパンズの
野菜バーガースープセット



「運転手に、谷っ戸ん田って言ったら
無事着きました。なんちゃって」



トレーを洗って、ネギ畑の草取り、ハウスの草取り。谷っ戸ん田は何でもやります！

第9回 『瀬谷の畑の麦ワラ片付け、田んぼ補植、畑草取り、サツマイモ植え付け』

- ★ 作業日：6月20日（土）9時30分～17時ころ 天気：晴れ
- ★ 作業場所：瀬谷の畑、谷戸田
- ★ 参加者：麻場・石田・久保・霧生（午前瀬谷のみ）・高見・佐々木妻&優聖くん（午前瀬谷のみ）・柴田・野地（たんもっくカフェ@谷っ戸ん田）・加藤・吉田（午前）・高橋（午前）・坂本（午後）・高田夫妻（午後）・百崎（渋滞でさつま芋の畝作りから合流）
テツさん
- ★ 午前作業：瀬谷の畑にて、
草刈り（テツさん）
残っていたジャガイモの収穫
堆肥やり（コンテナに入れて運び約3m?間隔で小山にする）
麦藁のかたづけ（畳紐で結えてダンブに積み込む
藁束のまま軽トラに積み込む
チップパーで粉碎、畑に飛ばす）
※ダンブと軽トラで谷っ戸ん田まで運搬、
用途は何ですか？堆肥ですか、敷き藁、麦藁帽子の材料？
- 昼食： 田んもっくランチ は タコライスランチ、
おやつは梅酒のケーキや梅入り白あんぱんなど
- ★ 午後作業：な～に谷っ戸ん田、田んぼの上ハウス脇の畑と谷戸入り口の畑にて、
コシヒカリ補植
ネギ畑の草取りと周辺の草刈り
玉葱の収穫、マルチの片付け→テツさんがトラクターをかける
さつま芋の畝作り、植え付け400本（紅あずま）
- ★ 道具：草刈り機、チップパー、スコップ、肥しマンノウ、コンテナ（4個）
移動・運搬はダンブ、軽トラ2台、9人乗りのでかいワゴン車
- ★テツさんより玉葱のお土産あり、トマトを買う人あり

（記録：高橋広明／石田周一）



豆吉号定番のベトナムコーヒー
谷っ戸ん田によく似合い、涼しさを運んでくれる



6月下旬の田んぼ、そして稲の様子。カルガモの休息場所。



瀬谷の畑で麦藁片付け、堆肥やり。



麦藁の一部はチッパーで
粉碎して堆肥に混ぜる

《ハンモックランチ》
タコライス



ネギの植え付け、さつま芋（紅あずま）の植え付け

第10回 『草取り/大豆の種まき/ハンモックカフェ NHK 取材』

とき：平成21年7月4日（土） 9：30～17：00すぎ

ところ：田んぼ（谷っ戸ん田）、谷戸上の畑、谷戸頂上の畑（うど畑の横）、道路わきの畑、堀の内の畑

天候：くもり時々晴れ（心配されていた雨模様はどこにやら・・・）

参加者：石田（事務局・午前作業不参加）、池田、磯・磯さん（妻）&石田さん・田口さん（見学）、加藤、霧生（昼過ぎまで）、久保、坂本・佐々木夫妻&優聖くん、柴田、松本夫妻、高田（妻）、高橋、高見、百崎夫妻&まるちゃん（午後の前半まで）、吉田、野地・田川さん（ハンモックカフェ）、荒木・上田・儀藤・徐・滝沢（蒙昧）、てつさん（園主）・りくとくん&ゆうやくん（てつさん甥っ子）、熊崎友香：リポーター・野寄潤一：カメラマン・馬戸悠至：音声（NHK クルー）、田中 計37人

■活動内容

<午前>

●田んぼの草取り（谷っ戸ん田）【田車3台】

稲は順調に育っていた。雑草は去年に比べてかなり増えた気がする。とくにきれいな花が咲くらしい丸い葉のコナギや矢印葉のオモダカが稲の養分を摂り、沢山生えていた。ひえはわき芽からひげが生えていないのを注意深く見分けて除去。1.5メートルの青大将を素手で捕まえる儀藤さんの勇姿、水かまきり・ヤゴ・ホウネンエビ（逆さに泳いでいた）を観察。

●活動開始時から、NHK クルーによる野地さん密着取材（7月13日11:05～11:57分放送）。ハンモックの使用法やカフェの様子、子供たちが遊ぶ様子を撮影。谷っ戸んだの作業風景映るかも！？

<お昼>

豆吉号を囲んで、夏野菜のラタトゥーユ&玄米かぼちゃポタージュをいただく。ジャムやパンも大盛況。人数多くて取材もこなした野地さん、本当にお疲れ様でした！

<お昼休み>

ハンモックに揺られる画を撮影。まるちゃん・優くんがお絵かきしている様子も映るかな？

<午後>

【大豆：鶴の子4kg 津久井在来？?kg（鳥よけのために真っ赤なキヒゲンを塗してある）】

●前半は谷戸の上にある畑にて大豆【鶴の子】の種まき

てつさんがトラクターで耕していただいた畑一面に種まき。紐（2本）をはり、鍬（5本）でまき溝を掘る。大豆を30cm間隔で3粒づつまく。除草剤（トレファノサイド3kg×2袋）を土を被せた上にまく。

●道路脇の畑へ移動

さつまいもの横：同様に溝を掘り、【津久井在来】をまく。三角地帯：黒豆をまく（両畑にトレファノサイド3kg×2袋散布）。

（休憩）てつさんからアイス（ガリガリ君）の差し入れがありました。

●後半は三手に分かれて作業

①谷戸の頂上（うど畑横）大豆まき…てつさん、磯、儀藤、久保、坂本、高田、松本夫妻、田中 ⇒ 鎌（6本）で草取り。てつさんにトラクターで均してもらい、紐なしの高技術を要する溝作りを鍬（1本）で行う。【黒豆】をまく。除草剤は後日てつさんにおこなってもらうことに。

②堀の内大豆まき…石田、加藤、柴田、高橋、滝沢、吉田 ⇒ 【津久井在来】を約7畝まく。

③谷っ戸んだ看板制作…池田、高見 ⇒ てつさんから提供していただいた板にプリントした文字をレイアウトし、縁彫り⇒バーナーで文字部分を焼いた。今後浮かし彫りをして仕上げる予定。

今回はハンモック研究会・NHK 取材クルー・蒙昧さん・磯さんご友人など、谷っ戸ん田を初見学の方が多く見えて、賑やかな一日になりました。ハンモックや俳句、そして谷っ戸ん田の魅力が全国（「いっと6けん」という番組なので関東地方だけかな）の視聴者に伝わってくれるとうれしいですね。穂が出ていない時期にヒエを見つけるのは難しいですが、見つけたときには目が肥えた気がしてうれしかったです。差し入れの大量のガリガリ君は、一本も当たりがでなかったのでしょうか…？

（記録：田中萌）



今年の田んぼは
生き物や草が多い。
いい環境なのかな。

田車3年目だからね。
初心者には負けないよ。

ボク、初心者なので、
見守って下さいネ。

ハンモック ウクレレ弾いて 夏模様



あっ、撮影している。
たくさん買わないと！



私、青大将。大将なんだから
隊長より偉いんだけど。

《ハンモックランチ》
夏野菜のラトユサンド
玄米ポタージュ

NHKの「きょうの料理」で
紹介して欲しいな。



「田車、面白いですね」
「な〜に言ってんだ、10年早い」



「先生、腰が曲がっていますよ」
「な〜に言ってんだ、これがプロの技さ」



蒔いた大豆の種類は「鶴の子」。
北海道産です。



鳥よけのため真っ赤な
忌避剤（ヒキゲン）が
塗ってあります。

約30cm間隔で3粒蒔いていきました。

「ママ、それ、なんで、黄色いの、なんで？」
「鳥さんは黄色は嫌いなものっ」



「タカハシ、ただ今より、休憩に入ります」
「オイ、オイ、オイ！」

大豆蒔く 美女に挟まれ 手が震え



堀の内でも大豆を
蒔きました。



草取りの開始。仕上げはトラクター。どうです。真っ直ぐですか？

ようやく看板の製作に着手。

第12回 『田んぼの草刈り、畑の草取り、看板作り』

とき 平成21年7月18日(土) 9:30~19:00頃
ところ 十日市場のたんぼ、堀之内の畑、谷っ戸ん田の大豆畑
天気 曇り時々晴れ 気温以上の蒸し暑さ、無風
参加者 麻場、石田(3時まで)、磯、大塚(PM) 久保、坂本(PM) 高橋、高見、田中、
百崎一家(AM)、吉田、てつさん、高田妻
ハンモックカフェ 野地、(PARC 自由学校受講生から見習い参加の) 加藤さん、
加藤さん祖母(92歳、間違いなく今までの参加者で最高齢! 平均年齢上がった!), 加藤友人
加藤さん愛犬ムッシュ(3才)
ゲスト 武田さん+ゆいちゃん(3才) 綾瀬の養豚農家さんの母子(NHKを見て参加)
合計19名+子2名

午前の作業 三手に分かれての作業

- ・ 十日市場のたんぼの草刈り 石田、磯、高橋、てつさん
たんぼの面積で8反くらいはあるだろうか? 刈り払い機4台。午前(1時間少々)でだいたい半分は刈れた。
- ・ な~に谷っ戸ん田 谷戸入り口の畑の草取り 高見、武田親子、百崎親子
- ・ 堀之内の畑、里芋が植えてあるところの草取り 麻場、久保、田中、吉田、高田
草刈り鎌、てみ使用 午前中で全体の5分の1程度しか進まず、先が見えない状態

昼休み

<ランチメニュー>

キュウリとひじきの夏ドライカレー、かぼちゃのケーキ・ばななマフィン・コナコーヒー
・ベトナムコーヒー・うば紅茶 数種のジャム
意外な組み合わせのカレー、美味しいヘルシー。家でも作りたいな!
ハンモックでほんのひととき休息♪



午後の作業 三手に分かれての作業

- ・ 十日市場のたんぼの草刈り 磯、吉田、てつさん
- ・ 谷っ戸ん田の大豆畑の中耕除草(平鍬、三角鎌、オカメ鋤簾使用)、看板作り、石田、大塚、高橋、高見、武田親子
- ・ 堀之内の畑 麻場、久保、坂本、田中、高田
なかなかはかどらない中、途中からたんぼ組が助っ人に、さらに大豆組も応援に!
いっきに進み、18時30分終了。外はまだ明るい
谷っ戸ん田に戻り後片付け 解散

次回 7月25日(土) 17時~ 暑気払い (その前に拡大事務局会議)

(記録: 高田直子)



ボク、谷っ戸ん田生れです。



「田んぼ、水抜いてますね」
「なんで？」
「なんで攻撃、禁止！！」



やっぱり目まいがしてきたわ

「今日中に雑草を全部抜くんだそうです」
「目まいがしそう」



赤米田んぼに涼みにきたけど…
水路に水はなく



わたし、ハンモック隊に入ろうかなあ



ひたすらに ただひたすらに 草を刈る



隣の畑の大豆は順調に成長



彫刻、好きなんです。田中の「田」、
いや谷っ戸ん田の「田」彫ります！



ところで、
いつ完成するんですかあ？

ゲストの親子に
かっこいいところ見せないと



お母さんのアイスの差し入れ、
生きかえるね



午前10時半から始めた草取り、
午後6時過ぎに終了。



「今度、また来る？」
「うん、またハンモックに乗りたいたいもん」

番外編 『拡大事務局会議 & 暑気払い』

【とき】 平成21年7月25日（土）

15:00 ~ 16:00頃まで拡大事務局

17:00~23:00解散（16:00ごろより準備開始）

【場所】 てつさんの小屋

【参加費】 1名1000円

【天気】 曇り時々晴れ

【参加者】 麻場、石田、磯、大塚、加藤、久保、柴田、高橋、高田妻、高見、福富、藤田、松本夫妻、百崎（妻・まるちゃん）、てつさん、野地、田中（合計19名）

15:00~ 拡大会議

16:00すぎ~ 掃除斑・買出し斑二手に別れ準備

掃除斑 : 石田、加藤、久保、高橋、松本（夫）

買出し斑 : 磯、大塚、高見、田中

17:20~ 乾杯

22:00ごろ 片付け開始

23:00ごろ 最終組解散

※今回はてつさんがスイカを2個も用意してくれていました！

その他にもたくさんのお野菜を提供していただきました。

てつさんは小屋の片付けも暑気払い前にしてくれていたようです。

事前にてつさんと話を設けなかったこと、反省です・・・

※豚バラ事件やダンボールスモーク、すいか割りなど

今年も楽しい思い出がいっぱいの暑気払いとなりました♪

【会計報告】

・会費（15名×1000円＝15000円）

※勝手ながら、私の判断で参加時間が短かった方からは徴収いたしませんでした。

・出費（材料費＋食材費＝14808円）

・残額（15000円－14808円＝192円）

※残金は高田さんへ次回お渡しいたします。よろしくお願いいたします。

（記録：田中萌）





谷っ戸ん田生まれのカブトムシだぁ。



農のある地域づくり協定についての
青空拡大事務局会議



お待たせしました。それでは、乾杯！！



火の番は、オレに任せな！



おっ、段ボールの燻製。ネタは何ですか？



遅れてすみませ〜ん。踏み切りで足踏みしました。



サクラのチップのクンセイがカンセイで〜す。



火遊びはやめましょう！



スイカ割り 夏の夜空に もっと右



暑気払い解散メンバー+カメラマンシバタ

第12回 『田んぼの草取り・周り刈り／ねぎの植替え・周辺草刈り』

と き：平成21年8月1日（土） 9：30～17：00

ところ：田んぼ（谷っ戸ん田）、ハウス裏のねぎ畑、谷っ戸ん田入口の畑

天 候：晴れ

参加者：石田、松本夫妻（午前）、田中（午前）、松尾（午前）、高田（妻）、高橋、加藤、久保、坂本、テツさん（園主）、柴田（午後の休憩まで） 計12人

■活動内容

【午前】

●田んぼの草取り（谷っ戸ん田）

田んぼには水が入っておらず、土用干しの状態。稲は50センチくらいの高さまで生長し、一部には穂が確認されている。（穂孕みも見られる）草取り後、田んぼに再び水を入れている（花かけ水）。稲をかき分けての作業は想像以上に大変な作業であると実感。稲の葉が顔や腕に当たると独特の痛痒さがあった。草は、コナギとオモダカが中心、だがヒエも……。取りきれしていない。

稲の色にはバラつきがあり、濃い緑色と黄緑色の場所があった。肥料の撒き方や量などに原因があったのかもしれないと、園主からの話。本来は、もう少し稲が全体的に黄色い状態なはず。対策としては、もう少しだけ肥料を加えるなどの方法が挙げられる。午後の最後に化成肥料を5kgまく。（ただ、肥料は葉のためでなく実のための穂肥えと思われるが……）

田んぼの周り刈りもおこなった。刈り払い機とスパイダーモア（グリーンの新兵器。ネット検索でメーカーの動画も見られるよん）

■お昼

ハンモックランチがお休みのため、石田さんが近くの（おばちゃんの手作りの）ほか弁まで買い出しに行って下さいました。坂本さんは、キャンプの時に用いられる小さなガスを用意し、カップラーメンで食事。昼食後はハンモックではなく、ドカンモック（土管の上で休憩）で休むなど、いつもと異なり、不思議と静寂ある谷っ戸ん田の昼休みでした。

【午後】

●ネギの植替え

ハウス裏のネギ畑のネギが雑草に覆われていたので、そのネギを一度抜き、谷っ戸ん田入口前の畑へと植替え。雑草が生い茂り、ネギを草の上から覗きながら作業。ネギは強いものなので、ネギの生長点さえ生きていれば植替えは可能。抜いたネギは、軽トラで植替え場所へ。（テツさんが管理機で掘った）ネギ植替え用の深い溝のところに、1か所に2、3本ずつネギを立てるようにして植える。根の部分に土を被せる。次への間隔（株間）は10センチから15センチくらい空ける。そして、溝に瀬谷から運んだ麦藁を敷き、畑全体に除草剤をまく。

ネギ畑の周辺を草刈りしていたら、昨年のコンニャク畑で草のなかか、ニョキっと伸びたコンニャクを発見。今年植えたものよりいいかも……。

■その他

テツさんから浜なしの差し入れを頂きました。おいしいと評判の（テツさんの同級生で、加藤先生の教え子の、鉄町の）村田園さんの浜なし（品種は、あけみず）です。8月最初でまだ走りのものなので、テツさんはおいしくないとの感想でしたが、私個人としては十分においしいものでした。横浜に来て、待望の浜なしを食することができて嬉しい限り。高田（妻）さん、高橋さん、加藤さんが交代で普段の包丁さばきを披露してくれました。皮をむく人によって、おいしさは違うのかな……。

■次回 平成21年8月8日（土）午前9：30～

（記録：柴田高治、補足：石田周一）

新兵器登場。
田の草取りは暑さ、そして
蚊との戦いなのだ。



スパイダーモアで田んぼの回りの草刈り開始。

こんなにすっきりになって、稲も嬉しそう。



田んもっくランチのない風景



こんなにネギがたくさんあると、
蕎麦が何杯食えるかなあ。



ネギが1本、2本、3本、、眠くなってきたあ。



オイ、聞いているのか？
ネギに必要なのは愛情なんだ！



家でも皮むきはオレの仕事だ。
どうだうまいだろう。



5度目の登場。「しっかり撮ってくれ。年賀状に使うから」

第13回 『苺の移植・定植／大豆畑の草取り／

ピーマン・シシトウの収穫／田んぼの草取り／麦の選別』

〈とき〉平成21年8月8日(土)9:30~18:00

〈ところ〉堀の内の大豆畑/イチゴハウスと下の作業小屋／谷っ戸ん田の奥の畑／堀の内の赤米の田んぼ

〈天気〉曇り時々晴れ 蒸し暑い一日

〈参加者〉石田、磯(午前)、儀藤(午後)、霧生、久保、佐々木妻&ゆうくん、高橋、高見、てっさん、
福富(午前)、松本妻、百崎妻&まる、ハンモック・カフェ 野地 13名+子2名=計15名

★午前 9:30スタート

三手に分かれて作業

〈苺班〉霧生、高見、てっさん、福富

作業小屋にて苺の移植。ロックウール(粒子が細かく、分厚いスポンジの様なもの)を5×5で切る。

1枚から128ヶ取れる。ロックウール5枚×128ヶ=640ヶ。

草姫の苗600を、切れ目を入れたロックウールに挟み、ピンで留めて出来上がり。

〈大豆畑班〉石田、磯、久保、高橋、松本妻

堀の内の大豆畑で草取り。手と鎌とでどんどん取る。土が軟らかく取り易い。取った草は畑の法面などに。

〈ピーマン・シシトウ班〉佐々木妻&ゆうくん、百崎妻&まる

谷っ戸ん田の奥の畑

ピーマン・パプリカ・シシトウの収穫 コンテナ2.5ヶ(お土産にいただいてしまいました。有効活用のレシポ募集です) → 終了後苺班に合流



ウマイ~☆

昼

ハンモック・カフェ 夏野菜のゴマダレ素麺 柚子蜜ソーダ

昼食後、覆面あみだくじにより、9月のワイナリーの研修担当を決めた。担当：霧生さん、加藤先生

★午後

〈田んぼ班〉石田、儀藤、高橋、高見、松本妻

堀の内の田んぼの草取り → 終了後苺班&麦の選別班へ

〈ピーマン・シシトウ班〉佐々木妻&ゆうくん、百崎妻&まる

午前中の続き 小さいシシトウを取る コンテナ1ヶ → 終了後苺班へ

〈苺班〉霧生、久保、てっさん

移植続き 終了後、ビニールハウスの片付けをし、定植。

〈麦の選別班〉石田、久保、高見、高橋、松本妻

瀬谷のうどん用麦をハイトーミ(電動の唐箕)にかけて選別、なかなか難しかった。40kg×6袋

18:00終了

次回は15日(土) 無理の無い出席で、スズメよけの糸張り、麦の選別の続きなどやりましょう。

(記録：百崎恵美)



稲の様子。
穂が出始めました。



田んぼの様子。
豆吉も朝早くから駆け付けています。



豆吉の新しい看板。
ですが、ハンモックを販売している
わけではありません。



7月18日に草取りをしたサトイモ畑。
大きく育ってきました。



サトイモの隣の大豆畑。
4人+カメラマンで午前中にキレイにしました。



「ランチの次はハンモックだ」
「ええ、しっかり休みましょう」

ハンモックは満席？満室？満床？



まさしく採りたての野菜。
ピーマンとシシトウ。



「谷っ戸ん田の看板を
彫っているんだよ」
「なんで？」
「なんで攻撃、禁止！！」



親子2組で野菜の収穫

ロックウールでイチゴの
苗を挟んでいく。
約600個、地道な作業です。



ハウスでの
ロックウール栽培の様子。



「この機械は？」
「とうみ。唐箕って書くんです。手廻式もありますよ」



シシトウ占いではありません。

第14回 『田んぼの糸張り／ハウス片付け／麦の選別 など』

スズメよけの糸張り／麦の選別(続き)／ハウス内除草／苗箱片付け／キュウリ下葉切除／野菜苗のポット移植／種まき(ハウス/セルトレイ)／ウド畑下畑草刈／暗渠排水／

〈とき〉平成21年8月15日(土) 9:30～18:00(流れ解散)

〈ところ〉谷っ戸ん田／谷っ戸ん田上のハウス／イチゴハウス下の倉庫前／作業小屋前のビニールハウス／作業小屋前／ウド畑下の畑

〈天気〉快晴 日中は暑いですが、日陰はやや過ごしやすい。

〈参加者〉石田、磯、加藤、霧生(午前)、久保、坂本、佐々木夫妻&ゆうくん、高田妻、高見、吉田(午前)、てつさん 12名+子1名=計13名

★午前 9:30スタート

【谷っ戸ん田】 全員

スズメ避け糸張り・・・水田外周の長手方向に支柱(ビニール被覆の主柱を2本の支柱で支えひもで結束。3本/箇所使用)を8箇所ずつ、残りの辺上に2箇所ずつ支柱を立て、支柱間に糸を張る(上空から稲穂を守る)。水田外周には支柱中段付近を通るように透明のテグス糸を張る(外周からの侵入を防ぐ)。

【谷っ戸ん田上のハウス】 佐々木夫妻、高田、霧生、磯

ミョウガ畑の除草・・・草に覆われていたミョウガが見えるように除草。

【イチゴハウス下の倉庫前】 全員

麦の選別の続き・・・瀬谷のパン用麦をハイターミ(電動の唐箕、カンリウ製)にかけて選別。約40kg×3袋。

★昼

ハンモック・カフェはお盆休業。昼休みに谷っ戸ん田の看板作りの続き。

★午後

【イチゴハウス下の倉庫前】 石田、加藤、久保、坂本、佐々木夫

麦の選別の続き・・・パン用の選別。約40kg×3袋。前週実施分(うどん用)を再度ハイターミで。約40kg×6袋。

【作業小屋前のビニールハウス】 佐々木妻、高田

下葉切除・・・キュウリの下葉4～5枚をはさみで切除。風通し確保。

【作業小屋前】 磯、高見

苗箱片付け・・・洗浄後の苗箱を同種毎に10枚ずつひもで結わえる。

【作業小屋前のビニールハウス脇】 磯、高見、(ゆうくん)、高田妻、加藤、坂本

稚苗のビニールポットへの移植・・・ブロッコリー及びカリフラワーの稚苗(1トレイは128稚苗で構成。2×2×5cmの土付き苗が8×16柵に納まる。ブロッコリー及びカリフラワーとも2トレイずつなので、それぞれ128苗×2=計256苗)をていねいに柵から抜き取り、蔬菜専用園芸培養土を入れたビニールポットに移植。使用培養土量約80リットル。

【作業小屋前のビニールハウス脇】 高田妻

ブロッコリー、ハクサイの種まき・・・セルトレイ(8×10)にブロッコリー5枚 1か所2粒、ハクサイ3枚 1か所3粒種をまく。種まき用専用培養土 40L 1袋と少し。

【作業小屋前のビニールハウス】 佐々木夫妻

モロコインゲンの種まき・・・てつさんが耕し、穴あき黒マルチをはっておいた場所に1か所2～3粒種をまく。

【ウド畑下畑】 石田、久保、高見

草刈り・・・雑草に覆われていた畑を刈払機で刈り払い、刈草はそのまま残置。

暗渠排水工・・・広場付近に仮置きしていた孟宗竹(長さ2m程度、約50本)を軽トラで運搬し、予めてつさんが畑内に掘削した溝の底部に敷設。その後、ミニバックホウで覆土し転圧・整地。

18:00全作業終了。最後の作業としてポット移植苗ほかに散水(久保)。

※午後の休憩時に、てつさんからアイスの差し入れがありました。作業小屋の日陰で、一時暑さを忘れました。

次回 8/22(土)予定

(記録: 高見元久)



「糸張りだけで今日は終わりね」
「ええ、お盆ですから」



「さあ、これで終わりですよ」
「せめて看板は彫りたいなあ」



糸張って 谷っ戸ん田の 夏がいく

「ハウスは暑い！」
「暑いときにはハウスパー〇〇〇
カレーだよ」
「・・・ふう」



「谷っ戸ん田のパワーはすごいね。
キレイになったよ」



麦の選別。パン用から始め、
前回の続きでうどん用。



ハンモックのないシエスタ

「ハンモックだしなよ！」



「“に” が大切なんだ」
「“な” はだめですか？」
「ナニ！」

「ハウス、アツイです。
サムイとまずいけど」



田植え3年 稲刈り5年
トレイ片付け7年



「タカミさん、イソさん、
さっさとやってよ」



「いいんですか、4度目の登場ですよ？」
「マドンナは何度でも…」



竹を敷いて暗渠にして、新しい畑を作ります。



ハウスに野菜の苗を植えます。

第15回 『大豆畑の草取り／麦の製粉／ハウスの整理など』

〈とき〉平成21年8月22日(土) 9:30～18:00(流れ解散)

〈ところ〉谷っ戸ん田上の大豆畑／谷っ戸ん田上のハウス／テツさんの農機具格納庫

〈天気〉曇りのち晴 やはり日中は暑い。特に午後のハウス内は格別。

〈参加者〉加藤、霧生、久保、柴田(午前)、高田妻(午前)、百崎夫(午前)、吉田、松本夫婦、
野地(ハンモック)、テツさん。 計11名

★午前 9:30スタート

〈上の大豆畑〉 全員

鍬、鎌などを使用して、大豆畑に蔓延る雑草を除去する作業。周囲の雑草はテツさんが、草刈機にて除去。

★昼

ハンモック・カフェのメニュー

メイン: 夏野菜と鶏肉のベトナムごはん。

サイド: かぼちゃのケーキ・バナナマフィン・ブルーベリーマフィン・燦燦ブレッド・ くるみとアーモンドのパン。

飲み物: ベトナムコーヒー・ゆずみつソーダ。

ベトナムごはんは、玄米と赤米に鶏肉とトウモロコシを混ぜて炊いた上にゴーヤと紫蘇の刻んだものをトッピングし、ナンプラー・酢等のドレッシングが掛かった、夏らしい味。食後は、ハンモックでの昼寝(数名)や、談話。



★午後

〈上の大豆畑〉 加藤、久保、吉田、松本夫婦

除草後の大豆畑へ肥料撒き。使用肥料: 高度化成442号・20kg×約1/3袋。

〈テツさんの農機具格納庫〉 霧生→PM3時から松本妻にバトンタッチ。

約60kgの小麦をパン用に製粉機にて製粉。1回目の製粉は3kg位、2回目10kg位、3回目は、手で篩いに掛け6kg程度の出来上がり。

〈谷っ戸ん田上のハウス〉加藤(PM3時迄)、久保、吉田、松本夫

大豆畑の施肥終了後、まずトマトハウス内のマルチ・黒シートを撤去。その後、隣の胡瓜ハウス内の雑草除去とマルチの撤去。(午後のハウス作業は、サウナで作業をする感覚。こまめな休憩が必需。皆、休憩時には頭から水をかぶって熱冷ましをしていた。)

18:00全作業終了。

※午後の休憩時にテツさんから、ふんわりかき氷の差し入れがあり、リフレッシュ出来ました。加藤先生分も有ったのですが、入れ違いで帰られ、溶けるのも勿体ないので、3名(松本夫・久保・吉田)で分けて頂きました。また、胡瓜ハウス内に残っていた大き目の黄色くない胡瓜を、やはり3名で頂きました。帰宅後早速、皮をむき、スライス・塩揉みして、好みのドレッシングを掛けて食べましたが、甘味があり、なかなかの味でした。(捨てるのは勿体ない)

次回 8/29(土)予定

(記録: 松本純)



「どうでした昨日のゴルフは？」
「まあまあ。鍬を振るほうが難しいなあ」



「美味しそうだなあ。でも、手が震えている…」



危険を感じるくらい
サウナ状態のハウスの中。
2つのハウスをすっかり
綺麗にしました。



尾根の大豆畑の草取り。
だんだん会話が無くなってきます。



午前中でほぼ完了。
今年の収穫はどうなるでしょうか？



「ヨシダ君、今度一緒にゴルフやらない？」
「鍬振るのがうまくなってから…」



届いたばかりのソバ用製粉機でパン用麦を製粉。

第16回 『そば種まき／ジャガイモ植付け／畑周囲の草刈り／田んぼ草取り／

シシトウ・ピーマン収穫／キュウリ定植準備』

<と き> 平成21年8月29日(土) 9:30~18:00 過ぎ

<ところ> 瀬谷の畑(そば、ジャガイモ、草刈り)／谷っ戸ん田／谷っ戸ん田上のハウス・畑

<天 気> 晴 谷っ戸ん田に移動後曇り

<参加者> 麻場、石田、霧生、久保、坂本(午後～瀬谷畑終了まで)、佐々木妻&ゆうくん(午後半ばまで)、高田夫妻、吉田(午後)、テツさん 10名+子1名=計11名

<内 容>

●午前

9:30 谷っ戸ん田集合 瀬谷畑へグリーン車で移動、または各自瀬谷畑へ集合。10:30 頃作業開始。

【そば種まき】品種は「信州大そば」。手まきエリアと播種機使用エリアを分ける。午前中はロール式 播種機「クリーンシーダ」を用いて種まき。手まきエリアにツムランド(漢方薬原料からエキスを抽出後の残渣を熟成させた堆肥。根張りが良くなる)をまく。

【ジャガイモ定植準備】品種は「キタアカリ」「普賢丸」。管理機によりさくを切り、化成肥料、ツムランドをまく。

【畑周囲の草刈】刈り払い機を使用。

●昼

各自持参の弁当またはコンビニに買出し。

●午後

【そば種まき】クワでさくを切り、手で種まき。8cm 間隔で二粒ずつまき、土をかぶせた。畑一枚の半分に播種機使用、半分を手でまいて、手でまいた部分にツムランドを加える…という予定だったが、ツムランドが不足したため、手でまく部分を減らした。結果、畑の中ほど2/5程度を手でまき、両サイドをクリーンシーダでまいた。

【ジャガイモ植付け】畑の堆肥、殺菌剤(そうか病対策)をまいた後、植付け。そば畑に近い側から3列+1/5列がキタアカリ、4/5列+5列が普賢丸。10列作って種芋が足りなかったため、後日テツさんにより追加予定。

16時 瀬谷畑から谷っ戸ん田へ移動。

【田んぼ草取り】元気なヒエは稲より高くなっていた。特に旧赤米田んぼに多い。この日の作業では取りきれなかった。

【シシトウ・ピーマン・パプリカ収穫】コンテナ2個。おみやげにいただいた。

【キュウリ定植準備】以前のキュウリハウスの紐をはずし、片付け。今後使用するキュウリハウスに肥料(コフナ1号、HC-73、ツムランド すべて微生物を含む)をまき、耕運機をかける。

キュウリ、セロリ等の苗を植える予定だったが、この時点で18時をまわっていたため、作業終了とした。炎天下に作業盛りだくさんの一日だった。

<次回>平成21年9月5日、ヒエ取り、ブロッコリーなど植付け、他

(記録: 麻場悠子)



「まずは機械で蒔いて、後半は手蒔きだよ」
「そのココロは？」
「ジ・ッ・ケ・ン」



「ユウ君、なかなかうまいね」
「イシダちゃんも、悪くないよ」



「今夜は美味しい蕎麦が食べたいね」
「ゴメン、昨日に続いてカレーなの」
「.....」



ソバとジャガイモに蒔きました。



「鍬は腕の力じゃなくて、腰で」
「カレーばかりだと腰に力が入らなくて…」



信州大が育成した品種。
でも、「しんしゅうおおそば」と言います。



「腰が曲がり
過ぎですかあ？」



わずかな日陰で
ランチ後の休息。

「イシダちゃん、ハンモックは？」
「サトイモのおうちで、ガマン、ガマン」



植えたジャガイモの品種は、
キタアカリと普賢丸。



「谷っ戸ん田は凄いいね。米、麦、蕎麦、
ジャガ、、何でも来い！だね」



手蒔き5人衆。なおこ&まさこ
のソバクイーンズ入り。

「何で機械で蒔かないんだろう？」
「ちょうどいいコップがあったからじゃないですか」



夕方の谷っ戸ん田。ヒエが威張っていました。
4人で数十本抜いたけど、全滅には至らず。

第17回 『ヒエ取り／ブロッコリーなどの定植・人参の種まき』

大豆の草取り・大根の種まき・白菜の定植・種まき』

＜と き＞ 平成21年9月5日（土）9：30～17：40 ＜天 気＞ 快晴

＜ところ＞ 谷っ戸ん田／瀬谷の畑／テツさんハウス裏の畑／赤白鉄塔下の大豆畑／墓地の上の畑

＜参加者＞ 田中、石田（午前）、百崎一家、佐々木母子、高見（途中中抜け）、高田（妻）、久保、坂本、藤田（午後）、磯、加藤、松本夫妻（午前）、霧生（午前）、麻場（午後）高橋、神田（ゲスト、午前）、テツさん、柴田 19名＋子2名＝計21名

＜内 容＞

●午前

【稗や雑草の草取り作業】谷っ戸ん田の田んぼ

＜田んぼ班＞ 田中、石田（草刈機）、百崎一家、高見、高田（妻）、久保、神田、佐々木母子

去年、赤米だった場所に稗が多く、そちらを中心に行った。土は湿り大人でも足をとられて転びそう。稲に隠れて見えない我が子が「長靴が脱げて動けないのよ～！」と叫ぶ声を聞き大笑い。谷戸にいても驚くのは植物や昆虫の豊富なことだ。そしてその名前を知っている会員がいるというのに3年目になる私はまだ、覚えていないという事実。しっかりせねば。道具として鎌を使用。

【キャベツ・ブロッコリー・カリフラワーの苗の植え付け、人参の種まき】瀬谷の畑

＜参加者＞ 園主、磯、加藤、霧生、柴田、高橋、松本夫妻

- ・車3台に分乗して移動。10時過ぎから12時半まで。途中休憩1回。
- ・先週種を播いた「そば」の発芽を確認。茎は赤味がかっており、すでに4cmくらい。手播きの列よりも、器械播きのほうが密集。何箇所か、種をこぼしたと思われる可愛い「島」も出来ていた。
- ・先週じゃがいもを植えた畑約1/4面に、紐で線引きをしながら管理機にてサクを切り、溝に肥料（神奈川県専用普通化成888号）を撒布。キャベツ150本、ブロッコリー300本、カリフラワー100本の苗を植えた。
- ・残りのスペース半面程度に、肥料（高度化成442号）と殺線虫剤（ネマトリンエース粒剤）をまき、管理機で攪拌。人参の種のシーダーテープ（ビニール紐状の柔らかい袋の中に種が10cm間隔に2～3粒入っている）を専用繁殖機で12列埋めていった。露出して乾燥しないよう、それを土の上から丁寧に踏んでいき、表土に除草剤（トレファノサイド）を撒布して終了。

※初めて「シーダーテープ」なるものを見ました。サカタのタネ製で、テツさんが種と間隔を指定して作らせたそうです。農業も随分進化しているのだなと関心しました。

※松本さんが、足に網がからまった鳩を助けました。鳩の恩返しがあるかも！？

※休憩の時、テツさんが給水タンクに水を用意してくれ、麦茶も用意してくれましたので助かりました。

●お昼

持参の弁当又はコンビニに買い出し。昼休みは、トランプで神経衰弱やババ抜き大会、高橋さんのタイのトイレ事情、お土産のストールで女性陣は盛り上がり。エミ蔵さんのタイのお菓子とタイの裏話で過ごす。

●午後

【大根の種まき】テツさんハウス裏の畑

2時すぎ作業開始。種類は、『福営（ふくほまれ）』、『葉根っ子』、『冬みねセブン』、『千都（せんと）』。千都はすでにテツさんがまいており、補植（コオロギに食べられていたため）。すでに畑は耕うんしており、『ラグビー（線虫殺虫剤）』、『ツムランド』を1袋15kg×3まく。2列穴あき黒マルチを、テツさんがマルチャーを使いマルチング。マルチの穴に、4～5粒ずつそれぞれの品種の種をまく。種まき後、『グリーンベート』をまく。テツさんハウス裏の畑は、現在、8畝の大根の種が植わっている状態。

【大豆の草取り】赤白鉄塔の下の大豆畑

女性陣が草取り作業。大豆の畝間の草取りをしてくれました。広い畑をきれいにしてくれました。

【白菜の定植と種まき】墓地上の畑

大根の種まきと同様。耕うん済みの畑に、肥料『神奈川県専用 高度化成442号』を1袋20kg×2まく。2列穴あき黒マルチをマルチャーでマルチング（5畝、10列）。品種は『黄久娘80』と『寒みどり』。黄久娘は240株（80株×3トレイ）定植。2畝をマルチの穴に4粒程度種まき。1畝のみ寒みどりの種。百崎さんが、畑周辺の草を刈払機を使って刈っている。

【補記】大根・白菜・キャベツ・ブロッコリーなどは、コオログに食べられる被害がこの時季はよく出る。その対策として、グリーンバート（虫よけ・誘引殺虫剤）をまいている。

●その他

霧生さんから10月の研修の話あり。次回は、獲れた小麦を使ってパンを焼く予定。

記録：佐々木（午前・田んぼ班）、霧生（午前・瀬谷畑班）、柴田（午後作業）



「ヒエ投げは腰を使って…
エイッ！」



「こんな投げ方はどうだ…そりゃ！」
「すごい！谷っ戸ん田のムロフシ！！」



一週間前に蒔いたソバが芽を出しました。こぼした種も。



瀬谷ではジャガイモ、
ソバに続きキャベツを
仕込みます。

「しまった…お土産忘れた。
さっきの発言、取り消し！」



「山形でココロの洗濯してきました。
その分、しっかり働きます！」

「ボクもココロの洗濯したいなあ」



キャベツに続き、
ニンジン、
ブロッコリー、
カリフラワーの
仕込み完了。



お昼にトランプ。



ヒエを抜いてもらって、
黄金色に輝く谷っ戸ん田。



「ユウ君、5粒蒔くんだよ」「なんで？」
「4粒じゃ足りなく、6粒だと多いから…」



蒔いた大根の種は
4種類。



「ココロの洗濯をしたいんだって？」
「えっ、なんで知っているんですか？」
「土のかけ方が雑だから」



「セブン、セブン、セブン、…、
はるかな星が郷里だ♪」



「次はハンモックが
来るように
お祈りするんだ」



白菜男五人衆。
8月15日に暗渠にした
草地在畑に変わった。



大豆畑ガールズによる草取り。ビフォー&アフター。

第18回 『ハウス作業/パン作り/看板仕上げ』

- ＜と き＞ 平成21年9月12日（土） 9：30～16：00
＜ところ＞ テツさん小屋/谷っ戸ん田上のハウス2棟/作業小屋上のビッグハウス
＜天 気＞ 雨（スタート当初は大雨。時々弱まるものの、1日強い雨）
＜参加者＞ 園主、石田、加藤、久保、高橋、福富、松本妻、吉田、麻場、磯、柴田、高田夫妻（午後）、
高見、田中、藤田（午後）、松尾、松本夫妻（午後）、儀藤
＜内 容＞ ハウス作業、パン作り、看板仕上げ

【ハウス作業】

- 午前 ハウス作業 10:30～12:00 谷っ戸ん田上のハウス2棟
園主、石田、加藤、久保、高橋、福富、松本妻、吉田
1. キュウリ棟、4列に植えたキュウリ200本をひもで吊るす。吊るすにあたり1列あたり5-6本の支柱を立てる。これは、ひもを結ぶ鉄線がゆるまないよう支えるためである。60cm位に成長しているキュウリの茎に平紐テープを通したピンチ（大きめの洗濯バサミ）をはさみ、高さ170cmに張った鉄線に平紐テープの端を結ぶ。畝の間（2列）に黒いシートを敷く。理由は、乾燥防止、防草、土煙りを防ぐこと。
 2. トマト棟、4列に植えたトマト200本ひもで吊るす。吊るすにあたりキュウリ棟と動揺に1列あたり5-6本の支柱を立てる。40cm位に生長しているトマトの茎に平紐テープを結び、高さ170cmに張った鉄線に平紐テープの一方の端を結ぶ。注意事項として、キュウリもトマトもゆとりが持って紐を吊るすことが大事、ゆとりがあれば後の修正もたやすくできる。
ヒトも野菜もゆとりが大切と園主より薫陶を受けました。
- 午後 ハウス作業 14:00～16:00 作業小屋上のビッグハウス
麻場、石田、磯、加藤、儀藤、久保、柴田、高田夫妻（午後）、高橋、高見、田中、福富、藤田（午後）、松尾、松本夫妻、吉田
1. モロッコインゲンを3粒づつ約20か所に補植する。また、1か月前に植えたモロッコは60cmほどに生長しているのでそれぞれ数の分だけ支柱を立てる。補植部分も同様支柱をたてる。支柱の高さ30cmの部分を平紐テープでつなげていく。モロッコが外にはみ出していくのを防ぐ目的である。最後にジョウロで水やり。
 2. ハウス内に生えている草取り。

【看板仕上げ】

- 午前 ハウス内にて作業 10：30～12：00 谷っ戸ん田上のビッグハウス
麻場・高見・田中
蚊取り線香2個、VAP E 1個の対策にもめげずに攻撃をしてくる蚊から身を守りつつ、のみ・彫刻刀・カッターで切り込みを入れ、【な～に谷っ戸ん田】浮き出し彫り。
丸刀で波のレリーフをほどこすというこだわりに、一同一心不乱に彫り続けました。
- 午後 ハウス内にて作業 14:00～16:00 作業小屋上のビッグハウス
麻場、儀藤、柴田、高田夫妻、高橋、高見、田中、藤田、福富、松尾、松本夫妻、吉田
午前の続き。
浮き彫りをさらに引き立たせ、具合のいいレリーフに苦戦。完成後、農作業班と合流し看板裏に日付を一人一字づつ彫る。皆さん慎重に最後の仕上げを彫り終え、一先ず構想より2年越しの看板完成！！

【パン作り】

テツさん小屋で加工作業、小屋前のハウス内にて窯焼き 10:00～16:00
松尾、柴田、儀藤、松本(夫)、磯

朝から雨降りのため、屋外でのドラム缶窯によるパン焼きは急遽「ハウス内でなんとかする」方針となる。
早目に焼き上げるため作業スケジュールを変更し、午前中から作業することとした。

●作業目論見

園主が栽培した地元産小麦(夢四方)粉を100%使用したパンを作り、リアル地産地消をおいしく体験する。

(1)有志持ち込みによるホームベーカリーにて食パンを作成 / 小麦粉 400g(1.5斤分)×2

(2)フォカッチャ / 小麦粉 300g(2枚分)×3。手こねして窯で焼く。

(3)プレッチェン / 小麦粉 300g(12コ分)×3。同じく手こねして窯で焼く。

石焼芋で使った横置きドラム缶窯を作業小屋上のハウス内に設置しパン焼きを行う。

●作業

パン作成班は、松尾、柴田、儀藤、松本(夫)、磯 の5名。

10:00すぎから、作業小屋にて作業。

10:30ごろに食パンのセット完了。(1つは早焼きコース)

ひきつづき、小麦粉の手こね作業。

11:30ごろから窯の準備。

12:30ごろからパン焼き作業に入る。

13:10ごろに第一窯の窯出し。

以降 14:30ごろまで、窯入れ窯出しを数回実施。ホームベーカリーは、13:30、14:40に焼き上がり。

●成果と感想

- ・予定していた分量のパンは一応全部焼き上がり、参加者全員でおいしくいただけた。
- ・窯の準備に手間取り窯内の余熱が十分でない状態からパン生地を投入してしまった結果、初窯の出来はいまひとつ。園主への献上品である一発目が一番おいしくない出来となってしまった。
- ・窯内の温度が上がってからは大変よい焼き上りになった。会員の評判も上々だった。
- ・十分な分量が焼けた。余った分は希望者のおみやげとなった。
- ・ハウス内のドラム缶窯は夕方になっても冷めず移動困難だったため、片付けは次週行うこととした。
- ・ユメシホウの地粉はモチモチしていて大変おいしい。機会があれば市販粉と食べ比べをやってみたい。
- ・今回の材料費など(計 1,550円ほど)は参加者 15名で頭割して精算した。
- ・小麦粉(2.6Kg使用)は、今回は試食分ということで園主から提供していただいた。
(テツさんいつもすいません)。次回以降は、500円/kgで購入することとする。

●反省点

- ・ドラム窯の準備が遅れてしまい、焼き出しのタイミングがうまく行かなかった。余熱のことも考えると、こね作業開始と同時に並行で窯準備する必要がある。
- ・焼き作業への移行がスムーズにできるならば、10時開始で12時に窯出しするスケジュールでいけそう。
- ・感覚が残っているうちに、ぜひ二回目もやってみたい。

【残業】

磯、高見:墓地脇の農道整備(16:20～17:00)。墓地の敷地測量により現道と公図の道路とがずれていたために雑木林の一部を伐採して農道を確保。

記録:高橋(ハウス作業)、田中(看板仕上げ)、磯(パン作り)



「マツモトさん、意外と男の仕事かもしれませんね」
「ハマッテしまうかも・・・」



「オレの人生にはユトリはあるんだけど、家庭が…」



「オレ、ユトリあり過ぎ。ゆっくり来て、
同窓会なんでさっさと帰るつもり」



「ダメだよ、もっとユトリがないと！」
「寝不足気味で・・・」
「言い訳しちゃだめ」



「そうユトリねえ、うちの旦那さん
ハマッテなければいいけど…」

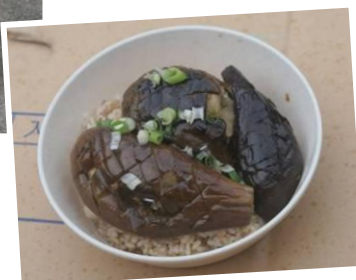


「平日はユトリがあるんだけど…。
週末は農業に専念しようかなあ」

一週間前に蒔いた大根。
芽の出方にかかなりバラツキがあります。



「雨の中でもこれだけ集まる
谷っ戸ん田は凄い。
う〜ん、うまいっ！」



茄子芋やきもち丼



「食べながら聞いて下さい。来週は稲刈りです！
ただし、豆吉号はベトナムに行ってしまいます」



「私がこねました。ねっ、美味しそうですね」



「私たち、看板娘だって」
「な～に言っ戸ん田だね」



「写真撮ってハンモックランチの参考にしよう」



「あっ、やっぱりハマッテしまったみたい」



フォカッチャ

ブレッチェン



食パン



「まさか今夜はカレーじゃないよね」
「・・・食事の話はあとにしましょ」



看板完成！稲刈りに間に合いました。
「うまく撮ってよ。年賀状に使うから」

第19回 『稲刈りとかけぼし（はざかけ）、看板の取り付け等』

<と き> 平成21年9月19日（土） 9:30～17:30頃

<ところ> 谷っ戸ん田と入り口の畑

<天 気> 曇り

<参加者> テツさん、麻場（午前）、石田、磯、大野（午前）、加藤、霧生、久保、坂本、佐々木一家、高田（直）、高橋、高見（午前、夕刻）、福富（午後）、藤田（午後）、松本夫妻（午前） 合計18名（内、子ども1名）+園主

<内 容>

●午前 稲刈りと看板設置準備

- ・ 田んぼ全体に張り巡らしていた鳥除け用の糸を巻き取り、支柱の回収。
- ・ 所々に頭を出している「ヒエ」抜き。
- ・ バインダーの入らないぬかるんだ田んぼ左奥の辺りや隅、バインダー通路用の畔側4～5列の稲を鎌で刈り取り結束作業。
- ・ 交代でバインダー2台（三菱RB30：「秋晴れ」号、「めぐみ」号）を使い稲刈り・結束。
- ・ 看板設置用の支柱の作成（丸太のカットとガスバーナーで表面の焼き上げ）

※昼前にバインダー1台をKubotaの社員が持って来田。よって11時過ぎからは3台のバインダーを駆使し、稲刈りは8割方終了。

※先生2人に引率された幼稚園児集団が通りがかり、園主による電ノコ・丸太カットショーやゆうくんの鎌さばきに拍手をしていた。口々に「オオカミの家をみにいくの」と言って、谷戸の奥へと消えていったが・・・？

●昼休み 各自、昼食と休憩。

※稲刈り日のせいか、皆のテンションは高め。

高橋氏による「やっとなきょう（谷っ戸ん田踊り）」が披露された。

●午後

【一部】13:30頃～15:30頃 稲刈りとかけぼし（はざかけ）、看板設置準備

- ・ 残った稲をバインダーで刈り取り・結束。
- ・ 組み立てたポニー（7本×2段+6本×2段+5本×2段=18本×2段）と堆肥置き場の手すり（棒約2本分）に、刈り取った稲を掛けてほす。
- ・ ほした稲束のまわりに、鳥除けの糸を張る。
- ・ 表面を焼きあげた看板用支柱磨き。

※かけぼしは「最短距離」がキーワード。（先の作業展開をイメージし、刈り取った稲をいかに効率良くポニーに乾していくのかを考えながら動くこと）

【二部】15:30頃～17:00頃 看板の設置とネギ畑の草刈等

- ・ 田んぼの畔の側面に穴を掘り、支柱を立てて看板を設置。
- ・ 田んぼ入り口付近のネギ畑等の草刈り。

●その他

※今年のお米の出来は前年並み？

※帰り際に園主より谷中生姜をいただいた。

※谷戸では彼岸花が咲き栗の実が落ち始めている。着実に秋が深まっていた。

<次 回> 9月26日（土）9:30～ 堀の内の田んぼのヒエとり、コシヒカリ脱穀 等

（記録：霧生）



みんなの汗で黄金色に輝く谷っ戸ん田。
ハレの日を迎えました。



「マドンナには難しいかな」
「甘やかしちゃいけないね」

「こういう細かい作業は苦手なの～」
「で、何が得意なの？」



「私はヒエが憎い！！」

「帽子とってどうしたんですか？」
「年賀状の写真を…」
「憎きヒエは？」「もう忘れたわ」



「看板作るんだって、すごいね。」



「サクサクねえ。
そう簡単には…」

「今日は午前中だけの
参加だから、サクサクと」



ぬかるんだ所は、手刈りで



ウルトラC（古いか？）の
自動運転



谷っ戸ん田が変身していきます。



「ムダとり？
オレはムダなの？」



「ムダとは言っていないけど…コウリツ悪いよね」

「夕方に来てすみません。穴、掘ります！」

収穫と看板完成の
笑顔、笑顔、笑顔！



第20回 『掛け干し稲の脱穀・粃摺り等』

<と き> 平成21年9月26日(土) 9:30~17:00頃

<ところ> 谷っ戸ん田

<天 気> 晴

<参加者> 麻場、大野(午前)、池田、磯(午前)、加藤、久保、佐々木母子、高田(夫)、高見(午前)、
松本夫婦、百崎一家、吉田(午後) 合計16名(内、子ども2名)+園主(テツさん)

<内 容>

●午前 掛け干し稲の脱穀

- ・掛け干し稲に張り巡らしていた鳥除け用の糸を巻き取り、支柱の回収。
- ・脱穀機2台での脱穀。平行して稲藁の結束作業。
- ・粃摺り開始。

※昼前に脱穀終了。粃摺りを開始し、暫くして昼食時間となる。

※午前中の休憩時間に百崎さんから相撲チョコレート、松本妻よりブルーベリーパイ・佐々木優ちゃんよりミルクィの差し入れあり。

●昼休み 各自、昼食と休憩。

※加藤先生より葡萄(ピオーネ・甲斐路・ロザリオ)の差し入れあり。

※昼休みにテツさんの許しを得て、栗拾いを行なう。(5個/一人の収穫あり)

●午後

- ・午前からの継続作業で、粃摺りと稲藁の結束。
- ・組み立てポニー1列(棒5本×2段・ビニールハウス側)の解体撤去。残り2列は大豆干し用に使用予定のため残す。
- ・上記完了後、玄米の山分け作業開始。

※粃摺り前の状態: 麻袋に15袋(28.5kg/袋平均)+2/3袋(17kg/袋)

※粃摺り後の状態「玄米」: 米袋に12袋(28.4kg/袋)

●その他

※午後の休憩時間には、加藤先生より甲州土産の「月の雫」(マスカットを砂糖でコーティングしたもの)の差し入れあり。

※今年のお米の出来は前年並み?→旧赤米田の分も入れると前年よりも出来は悪いのでは?(前年は白米だけで27kg/1区画)

※しかし毎年感じますが、収穫の喜び(分け前を手にした時の喜び)は格別。量では計れない何かを得られた気がしました。

<次 回> 10月3日(土) 9:30~ 赤米田の稗取り他の予定



まずは、鳥除けの糸を外す
ところからスタート。

(記録: 松本純)

脱穀機は2台。

「いよいよ新米が食べられるねえ」

「でも、田んぼの作業が終るのは、ちょっとさみしい…」





「マドンナはどうしたの」
「家で精米の準備をしてます。
今夜、新米を食べたいので。
おかずはトンカツかなあ」

「トンカツだって？」
「おなか空いてきたね」



「まだお米ついているよ」
「えらい、えらい、よく見つけたね」



「トンカツかあ。我が家はどうぞ」

「先生、使い方教えたでしょ」
「山梨へ行って、忘れてしまった…」



粃摺りを待つ行列



収穫のありがたさを重みで感じて



新米がシャワーの如く
出てきます。
スローシャッターで実感。



昼休み、ハンモックがないので…

左：田んもつく娘1号。粃殻型。
右：田んもつく娘2号。稲藁型。



9月5日に蒔いたダイコンが
無事に成長。



稲藁の山



山分けされた玄米が
作業小屋に運ばれます。

第21回 『赤米田んぼのヒエ取り・大根のおろ抜き、草取り／小屋下の草刈り』

<と き> 平成21年10月3日(土) 9:30~17:00

<ところ> 赤米の田んぼ／大根畑／テツさん小屋下

<天 気> 雨のち晴れ

<参加者> 麻場、石田、加藤、久保、佐々木夫妻と優ちゃん、坂本、柴田、高田夫妻、松尾、
松本夫妻 (敬称略) 計14名

<内 容>

●午前 赤米田んぼでのヒエ等の雑草取り

- ・谷っ戸ん田前に集合し、赤米田んぼに移動(グリーンのワゴン車を使用)
- ・雨が降る中を、赤米田んぼの一面に生えたヒエを中心とした雑草取りを行う。道具は鎌を使用した。
- ・取った雑草は田んぼ脇にまとめて積んだ。
- *途中1回の休憩を挟んで約2時間で作業が終了。
- *途中で久保さんがコンテナを使って取った雑草の運び屋を行い、作業が効率的になった。

●昼休み テツさん作業小屋前で昼食

佐々木さんからお庭でとれた柿の差し入れがありました。

●午後 二手に分かれての作業

○大根畑で大根の間引き(おろ抜き)、草取り

一か所から数本発芽した大根を、成長のいいもの2本残し、他は間引く。
また、てつさんが蒔いた大根は、1本に間引く。(先に蒔いてあるので成長が早いため)
途中3時休憩は優くんのオンステージ
間引き(おろ抜き)大根を3つのコンテナに集める。
コンテナに入りきれなかった大根は、畑に山積みにする。もったいない～。
最後に間引き大根をコンテナ1つはてつさんへ、残りはみんなで山分けしました。

○てつさん作業小屋下の草刈り 前半 柴田、後半 加藤&てつさん 草刈り機2台で草刈り。

山ブドウや竹やらを草刈機を用い刈っていく。高さ2メートルになるものまであった。最初、柴田は草の足もとの方から刈っていたが、テツさんから「それでは重くて刈れないから、上から刈るように。」とのアドバイスを受け、作業効率あがる。それでも加藤先生との交代した時に、テツさんより、「俺の半分も刈れてない。」とのご指摘。「まだまだ修行が足りない。」との温かい苦言を頂きました。次回以降に反省を生かしたいと思います。

17時終了

※次回 10月10日(土) 9:30~ 大根の間引き 他

(記録: 松尾敏行／午前、高田直子／午後・大根作業、柴田高治／午後・草刈り)



雨ニモマケズ・・・。ヒエ取り開始。



まだら模様の赤米田んぼを電車から見るができます。



「よしっ。ヒエ全滅をここに宣言する！」



終盤戦。残った箇所みんなが集まってきました。



大根の間引き。おろ抜きと言います。



ヒエと大根。どちらも抜く作業でした。

「来週は運動会だよ。間引きの続き、よろしくね」



第22回

『十日市場田んぼの藁立て・草刈り、大根のおろ抜き・草取り、玉ねぎの種まき』

＜と き＞ 平成21年10月10日（土）9：30～17：30

＜と ころ＞ 十日市場田んぼ、大根畑、谷っ戸ん田休憩スペース

＜天 気＞ 晴れときどき雨

＜参加者＞ 麻場、石田、加藤、神田、久保、坂本、高橋（午前）、高見（午前）、野地（ハンモック）、福富（十日市場作業終了後からの午前）、松本夫、百崎夫、吉田、テツさん 計14名

＜内 容＞

●午前

【十日市場田んぼの藁立て・草刈り】

- ・全員で十日市場田んぼへ移動。／ ・コンバインをかけた後の田んぼに残った藁を立てる作業。
- ・藁5～6束を円錐型に立て、藁1束を使ってまく。／ ・テツさんは刈り払い機で草刈り。
- ・2箇所の田んぼの藁を処理後、谷っ戸ん田へ戻る。

【大根のおろ抜き】

- ・2本ずつ生えているうち1本を間引き。間引かれる大根の気持ちになる人多数。
- ・葉を食べる害虫を見つけ次第、手で捕殺。地面に落として踏むのは効率が悪い。

●昼

- ・田んもっくランチ：ふわとこキノコと親子丼
- ・グリーン販売品：グリーンの手前味噌（米・麦・玄米）、グリーンの梅干（赤・白）

●午後

【十日市場の草刈り】（石田、百崎、吉田、テツさん）

- ・刈り払い機4台にて、田んぼ6反分を刈った。

【玉ねぎの種まき】（麻場、加藤、神田、久保、坂本、松本）

- ・セルトレーに土を入れ一粒ずつ種をまいた（作業場所：谷っ戸ん田休憩スペース）。

品種と数量	トレー枚数	内訳	228穴	200穴	128穴
「O. K黄玉葱」	11		3	8	0
「パワー」	16		8	8	0
「パワー（去年の残り）」	6		4	0	2

- ・しょうがのハウス内に並べ、じょうろで水をかけた。

【大根のおろ抜き、草取り】

- ・午前の続きと草取り少々

- おみやげ：おろ抜き大根、とりたての枝豆「津久井在来」を頂きました。ありがとうございました。（記録：麻場悠子）



「こうやってバランス良くして、最後に藁を巻いて簡単だろ」

「藁が濡れているから、ちょっとコツがあるかな」



さすが隊長。
女性には手取り足取り…



「どうだ、この出来ばえ。二日酔いの朝飯前だ！」



「いまだにワカラン。何でおら抜きって言うんだろう」



「おら抜きには歴史的な意味がありそうだなあ」



「意味はどうでもいいけど、一列終わったよ」



「あっ、ダイコン娘って書くんでしょ？」
「ええ。おら抜きダイコンは、細くて白くて…」



「ハンモックランチ、ヨーコに食べさせてあげたかった」



「二回目の参加です。
前回はヒエ投げで頑張りました。
ランチ最高です！」



「インフル予防じゃないですよ。
ベトナムのお土産いただきました」



『パワー』に『O・K』。
玉ねぎのネーミングは
意外と安易。



「この後の種蒔き作業は、
細かくて辛そうだなあ。」



「種蒔き、ヨーコにやらせてあげたかった…」
「誰ですか？ヨーコって？」

「確かに辛い。どこまで蒔いたか分からなくなるので会話ができない」

第23回 『イチゴのランナー取り、大根の種まき、胡瓜の収穫』

<と き> 平成21年10月17日(土) 10:00~17:00

<ところ> 小屋の下のビニールハウス、小屋裏の畑、田んぼ横のビニールハウス

<天 気> 曇りのち雨

<参加者> 磯、霧生、高見、百崎一家、吉田、テツさん 計8名

<内 容>

●午前

【小屋の下のビニールハウス】(磯、霧生、高見、百崎一家、吉田、テツさん)

- ・ 定植したイチゴ(秋姫?)のキューブからはみ出た苗や、下に長く伸びたランナーを除去する。
- ・ 綺麗にしたらマルチ(表面が白い方)を張る。トマトのマット張りの様に、トレイの真ん中に10センチ幅のマルチ、両端に20センチ幅のマルチをそれぞれ敷き、苗の周りをマルチで覆いホチキスで止める。一列のトレイでホチキス針の固まり4ヶ(200玉)使用。全部で約12列。

●昼ごはん(小屋で昼食)

●午後

【小屋裏の畑、田んぼ横のビニールハウス】(磯、百崎一家、テツさん)

- ・ 広さ3畝/2反。パワーショベルで土おこしをして、大根の種を蒔く準備をする。
- ・ ①~④を手撒きする。 ①有機石灰セリカ 35kg ②ツムランド 45kg(15kg x 3) ③殺虫剤ラグビー MC粒済 5kg(少々残る) ④高度化成肥料 442号 1袋 20kg(2~3キロ残る)
- ・ 管理機で土を耕す(速度はゆっくりめ)。
- ・ 目印を棒と紐でつけ、管理機でマルチを敷く。
- ・ 大根の種(春慶~年内蒔きの越冬専用種)を5粒つつ蒔く。

テツさんから飲み物とお菓子の差し入れを頂きました。雨が強くなってきたので、ビニールハウスに移り、胡瓜の収穫。胡瓜と人参をおみやげに頂きました。

●感想

- ✓ イチゴは、はみ出た苗がとて多く、勿体ないな~と。少しもらって帰り、植えてみました。つくかな?
- ✓ 小屋の裏の畑は、粘土質の土で塊が多く、管理機がとて重く感じられました。管理機がいじれて面白かった。
- ✓ 殺虫剤のラグビーは、とてつもないきつい臭いがして、マスク必要ですね。ちょっと頭痛がしました。子どもは要注意です。
- ✓ 石灰は重く、ツムランドは軽い。まるが一生懸命鍬で土を耕しておりました。

(記録: 百崎恵美)



「ランナーって、これですよ！」



「ランナーって、これだよね」



作業前のイチゴハウスの様子

作業がほぼ完了した
ハウスの様子



「研修ツアー、責任感じちゃうなあ」



「アバウトでいいんじゃないの。
高原ビール飲めば、みんなゴキゲンでしょう」



母は頑張る！



娘も頑張る！！



「イソさん、研修行かないの？」
「運動会なんですよ…」

第24回 『里芋、ショウガ、サツマイモの収穫』

と き 平成21年10月31日（土） 9：30～17：00すぎ

ところ 堀之内の畑、谷っ戸ん田道路脇サツマイモ畑

天 気 晴れ時々曇り

参加者 終日組 石田、坂本、松本（純）、高田（直）、てつさん、ハンモックカフェ野地
午前組 加藤、柴田、吉田 午後組 麻場、霧生

10名＋園主 合計11名

午前 グリーンのワゴンで堀之内の畑へ移動 里芋・ショウガの収穫

- ・里芋（4畝） 最初に茎を鎌で切り落とす。親芋に子芋がついた状態のままスコップ、鍬で掘り起こす。畑の脇に保存用の穴を掘り（深さ50cm、1.5m×2.5m位）、収穫した里芋を入れる。親芋からはずれた子芋はコンテナに集める。
- ・ショウガの周りの雑草を取る。スコップまたは手で掘り上げ、茎を切る。塊の状態でコンテナに集める。

昼 ハンモックカフェの韓国鍋カンジャタンランチ、バナナマフィン、おからとさつまいものキャラメルケーキ、柚子茶、ベトナムコーヒー等 カンジャタン美味しい！！

午後のひとときハンモックに揺られ休憩。

☆6月に参加されたPARCの金子さんがランチがてら遊びに来ました。

午後 サツマイモの収穫

畑一面に茂った蔓を鎌で切り、畑の脇によけておく。サツマイモ（紅アズマ、小金千貫、紫芋の3種）をスコップや鍬、手で掘り起こす。収穫したサツマイモを集め、米袋に入れる。最後に使用した道具を洗って終了。

☆今年は昨年に比べてネズミの被害（かじられる）が少ないようです。商品になるお芋が多かったと思います。小金千貫はどうみても大根だな～と笑えるのが数本。紫芋は一見紅アズマのようですが、表面がツルっとして器量良し。

☆蔓がついたままサツマイモをばらさずに掘り上げておくと、長く保存できる。今回は蔓からはずしてしまったので、次回気をつけよう。

* 今日収穫した里芋・ショウガ・サツマイモ、朝採りキュウリ・大根・人参・大松菜をお土産にいただきました。なぜか堀之内の畑に自生していた冬瓜（特大）もいただきました。

* 初物のセロリを、てつさんより先に試食させてもらいました！筋が柔らかく美味でした。ちなみにてつさんはセロリが苦手です。

* 3時休憩にてつさん、石田さんからお菓子の差し入れがありました。

次回 11月7日（土）9：30～ 赤米の稲刈り、大豆収穫 他

（記録：高田直子）



里芋の収穫



「と〜が〜〜ん、だぞお」



「お宝、出てきませんか？」



「いやあ、里芋は重いねえ」



「カンジャタン、美味しそうです！」



「でへへ、豊作だぞっ！」



「今夜はサツマイモで何作ろうか？」



セロリクイーンズ登場！

第25回 『赤米の稲刈り&脱穀』

と き 平成21年11月7日(土) 9:30~17:30
ところ 堀之内の田んぼ、谷っ戸ん田休憩スペース、谷っ戸ん田、谷っ戸ん田横のハウス
天 気 晴
参加者 △吉田、△柴田、△藤田、磯、久保、高橋、高見、高田(妻)、坂本、松尾、霧生、テツさん
(12名、△は午前のみ参加)

午前

【赤米の稲刈り】

- 全員で堀之内の田んぼへ移動。堀之内の田んぼでは、カンニホ(神丹穂)とベニロマンの二種類の赤米を作っている。本日のメイン作業はこれらの刈り取りと脱穀である。
- カンニホは丈が高いせいもあってほとんどが倒れていた。このため手刈りでの刈り取りを行う。一条刈りの稲刈機をテツさんが操り、倒れていない箇所を刈る。11人の刈り手で競ってもテツさん&一条刈りにはかなわなかった!
- 手刈り分は結束せずに脱穀することとした。刈り取りは11:00頃に終了。
- テツさんがハーベスタを持って来てくれるもエンジントラブル発生。プラグ交換にて11:30ごろようやく始動。しかしハーベスタはどうも調子が悪く糞がつかまってしまう。稲穂の水分で粉塵がだんごになっている感じ。
- ハーベスタ作業と並行して、結束していないバラけた藁をまとめる作業を行う。
- 機械の調子を伺いつつ作業したが、12:20ごろ途中で作業中断。脱穀作業は3割方しか完了できていない。
- 全員、一旦谷っ戸ん田に戻る。

昼ご飯 谷っ戸ん田休憩スペースにて各自昼食。

午後(13:40ごろから作業再開)

【赤米の脱穀】

- 全員で堀之内の田んぼへ移動。
- ハーベスタ、再始動。しかし調子は悪いまま。
- テツさんがハーベスタに見切りをつける。2号機を持ってくると行ってひとり田んぼを去る。残された我々は、適当に藁のまとめなどをやる。
- テツさんがハーベスタ2号機を持って来る。エンジン快調。作業も快調。
- お茶時間を経て16:00頃作業完了。
- 堀之内田んぼの赤米収量は、30Kg 籾袋で、カンニホ3袋、ベニロマン6袋だった。
- 来年の種籾用に、カンニホを5束(大)、ベニロマンを20束ほど脱穀せずに確保した。
- 堀之内の田んぼから撤収。全員、谷っ戸ん田に戻る。

【種籾天日干し、籾の乾燥、稲藁積み】

- 谷っ戸ん田の干し竿に種籾用の稲束を干す。
- 谷っ戸ん田となりのビニールハウス内にビニールシートを敷き、収穫した籾を拡げて干す。
- 谷っ戸ん田休憩スペース奥に藁を積上げる。小振りの藁積みをつ3つ作った。

※ 3時休憩時に、テツさんから飲み物と中華饅頭を差し入れしていただきました。

※ 藁の積上げ方を忘れないようにイラストで記録しておこうと思っています。

※ ニンジン、ダイコン、セロリをおみやげにいただきました。秋ってうれしいですね。

次回作業予定: 11月14日(土) 9:30- 大豆収穫(3ヶ所=堀の内、谷戸入り口、赤白鉄塔下)

(記録: 磯 直行)



赤米の稲刈り



機械のトラブル続き。約1名、我関せず。



3時のおやつ。日が暮れるのが早くなりました。

わらぼっち作りの講習始まる。



種粃の天日干し。手前はベニロマン。奥はカンニホ。



ベニロマンは谷っ戸ん田横のハウスで乾燥。



日暮れと同時にわらぼっちが完成？

第26回 『大豆の収穫と大根の漬け込み』

と き 平成21年11月14日（土）9：30～17：00

ところ 谷戸入り口の畑・鉄塔下の畑・堀之内畑・谷っ戸ん田・納屋ビニールハウスほか

天 気 雨のち曇りのち晴れのち曇り

参加者 園主（テツさん）、△麻場、石田、久保、○坂本、佐々木夫・妻・ゆうくん、柴田、菅野（柴田お友達）、高田マダム、高見、△松本夫・妻、加藤（15名、△は午前、○は午後の参加）

【午前・大豆の収穫、ハウスの整理ほか】

- 二手に分かれ、谷戸入り口の畑・鉄塔下の畑の大豆の収穫およびハウスの整理（モロッコインゲンの収穫と後始末・コンテナ半分ほど・ハウス内の草取り・カブやほうれん草の収穫など）を行う。大豆は10本ほどをひもで結束。大豆の下にひもを置き、その上に抜いた大豆を載せる人・それを結束する人・軽トラに運ぶ人と作業分担すると効率が良い。
- ハウス前に運び、3～4束を集めて「豆ぼっち」を立てる。
- 鉄塔下の畑では作業後にグリーンの軽トラが坂道でスリップして立ち往生。男どもが後ろを押して脱出。午前は軽トラ4台分のだ豆・黒豆を収穫。ハウスではモロッコインゲン・かぶも収穫する。

【昼食・納屋で】

- 昼食は納屋で。石田さんの韓国土産の海苔・チューブ入りコチュジャンが人気。ご飯にのせて食べる。
- 韓国風かりんとう？も甘辛くて美味しかった。高田マドンナがお弁当を食べた後に大きなコッペパンをペロリと平らげ、みんなが安然とする。

【午後・黒豆の収穫、大根の漬け込み】

- 堀之内畑で黒豆の収穫。ここの豆は茎も太く根の張りも良い。実の成り具合も良く、日照・肥料の影響？
- 軽トラ2台分の黒豆をハウスに。午前・午後で合わせて150の「豆ぼっち」ができる。全部で500～550束ほどか。
- その後、大根畑で60数本の大根を抜く。ミツバチの冬眠準備を見学後、納屋の前で葉と根を切り、一本ずつ洗って塩で漬け込む。大きい樽それぞれに30本・31本。塩1.5kg。片方には大根葉ものせる。
- ビニールをくくり、板をかぶせ、重石を載せる。（後日水があがってきたら取り出して再び漬け直す予定）。

【その他】

- 今日はお土産に巨大椎茸・カブ・モロッコインゲン・大根葉などをいただく。
- 昨年の春にみんなでほだ木を打った椎茸が順調に育ち、ナメコもぼちぼち始めている。なんだかうれしい。親が忘れていても子はどんどん育つのですねえ。感激。
- 昨年の三月に詠んだ句。 里山にほだ木打つ音浅き春 彰

※ 次回の作業予定 11月21日（土）9：30～ 瀬谷畑・蕎麦の収穫&麦撒き準備

※ 次次回作業予定 11月23日（月）9：30～ “ ” ・麦撒きほか

（記録：加藤 彰）



雨の中で収穫をスタート



ハウスの整理。
HCQ（ハウスクリークイーンズ）。



堀の内の大豆畑



「よしっ、沢庵作るぞ！」



「信じなさい。必ず晴れます」
「・・・ま、さ、かあ？」

「ほんとに晴れちゃった。
谷っ戸ん田教に入るか…」



収穫した大豆はハウスで乾燥させます。

「今年はミツバチが少ないねえ」



それでも、このトレイには
びっしりのミツバチ。

「ちゃんと洗っているか
チェックしま〜す」

第27回 『ソバの収穫とジャガイモの収穫』

と き 平成21年11月21日（土） 9：10～16：45

ところ 瀬谷の畑

天 気 快晴

参加者 園主（テツさん）、石田、加藤、久保、佐々木夫・妻・ゆうくん、高橋、高見
△松尾、百崎夫・妻・まるちゃん、吉田（14名、△は午前の参加）

【午前・8月29日に蒔いたソバを収穫】

- 9:10から久保さん、その後石田さんが加勢して、な～に谷っ戸ん田のポニー（は商品名で、全国的にはハザ（稲架）、横浜北部方面では掛け干し（の足場）と言う）をばらして運んだ。9:45に谷っ戸ん田から青の軽トラ（テツさん）、グリーンのワゴン車（石田、久保、高見、松尾、吉田、高橋）出発、佐々木一家は自転車、加藤さんは米軍通信基地を徒歩で回りながら基地問題を考えつつ百崎一家に拾われて瀬谷の畑に到着。10時半作業開始
- 倒れ気味のソバを鎌にて刈り取る。予想以上にソバの実が落ちるため、持って行ったポニーは使わず、谷っ戸ん田に運んで乾燥させることにした。ソバは、ツムランド入り・手播きエリアの方が幹が太く立っていた。肥料の効果か播き方か、たぶん前者と思われる。途中1回の休憩をはさんで、午前中に7割がた終了した。

【昼食・畑で】

- 昼食は畑にて摂る。弁当持ってこない人の分は買い出しにいく。
- その先の奥の田んぼでNP0団体がコンサートの準備をされていて、ひやかしがてら覗く。コンサートは15時から三線（サンシン）バンドだった。コンサートは畑で作業しつつみんな聴いた。アサトヤユンタ、シマンチュヌタカラなど・・・。マルちゃんと優くんは、終了後に参加（？）していたね。

【午後・ソバの収穫と搬送、8月29日に蒔いたジャガイモを収穫】

- 刈り取ったソバを畳紐で結束してダンプカーに積み込む。ダンプカーには実が落ちてもいいようにブルーシートを敷いた。満載したソバをテツさんの直売所裏のハウスに運んで並べる。運び手はテツさんと高見、高橋。
- ダンプで運んでいる間に残りのソバの結束とジャガイモの収穫を行う。ジャガイモの品種はキタアカリ、軍手をはめた素手で掘り起こした。収穫量は肥料袋に12袋合計約120kgと思われる。畝は全部で9列あり3列収穫したが、まだ、普賢丸とアンデスレッドが残っている。
- ダンプが戻り、1回目と同様に結束したソバを積み込む。ジャガイモはグリーンのワゴン車で運んだ。
- ダンプ2台目のソバをハウスに敷く（16:30）。ジャガイモは下の作業小屋に降ろした。

【その他】

- 今日はお土産にキャベツ・カリフラワーをいただく。
- 堆肥の中にはカブトムシの幼虫がたくさんいた。シュレーゲルアオガエルもいて高見さん喜ぶ。

次回作業予定：11月23日（勤労感謝ディ）9：30～ 瀬谷の畑で麦撒き

（記録：高橋広明）

おそばは、どこで作るの？



やっとなきょう♪やっとなきょう♪

韓国はどうでしたか？

ブログを見てよ



これで何杯食えるかなあ



これで何杯飲めるかなあ



第28回 『麦播種、じゃがいも・キャベツ・カリフラワー収穫』

＜と き＞ 平成21年11月23日（月祝）9：30～17：30 過ぎ

＜ところ＞ 瀬谷の畑

＜天 気＞ 晴

＜参加者＞ 麻場、石田、磯、加藤、高橋、野地（ハンモックカフェ）、テツさん 計7名

＜内 容＞

● 午前

9：30 谷っ戸ん田集合 瀬谷畑へグリーン車で移動、または各自瀬谷畑へ集合。

【じゃがいも掘り】「キタアカリ」1列、「普賢丸」6列を10m程度まで手で掘る。

【麦播種準備】テツさんがユンボ（バックホー、ショベルカー）と4輪駆動ダンプつきの軽トラを駆使して、堆肥を移動。畑の15箇所くらいに小さい山を作り、皆でフォークやシャベルで広げる。畑の隅にあった堆肥の山をすべて使用。饅頭虫を見つけては救助。

【畑周囲の草刈】刈り払い機を使用。

● 昼

ハンモックランチ&昼寝&ユンボモック



さつまいもごはん&豚汁

● 午後

【麦播種】テツさんがトラクターで堆肥と土を耕転し、ならす。紐をはって、管理機に金属の車輪とプラウ（鋤）をセットしたもので溝をつくり、手で種まき。溝は60cm間隔。一足ごとに指三本でつまんだ麦を10粒強ずつ播いたのち、足や管理機を使って土をかぶせた。7aの畑に対し、種の使用量は約2kg。すべてパン用の「ユメシホウ」。最後に除草剤トリファノサイドを4～5kg散布。

【キャベツ・カリフラワー収穫】テツさんが鎌で次々収穫したものを皆で軽トラに運搬。1つつおみやげにいただいた。残りはグリーンへ。

【次回作業】

次回11月28日（土）は、うどん用小麦の播種などです。

【本日の収穫】

- ・キャベツ約30個。カリフラワー10数個。
- ・じゃがいも キタアカリ2kg。普賢丸30kg。
- ・饅頭虫20匹。うち4匹はカエル観察に来た小学生4人にあげた。残りは谷っ戸ん田の堆肥の山へ。
- ・ツルウメモドキ数束（観賞用）。

（記録：麻場悠子）

「私には一句詠む
余裕がありません…」



「一句詠みます。『新しき手袋はめて麦を蒔く』」



「どうだあ？オレの句は？ 蒙昧はどうしたあ！！」



「・・・Z z z z、ムギ、ムギ」



「・・・Z z z z、ゴクラク、ゴクラク」



「さあ、お昼寝はおわりだよ」

「ほれほれ、どうした！」
「えっー、倒れそう！」



「汝、蒔けば救われる。で、ところで何時？」



「汝は救われなかったのか？」

第29回 『麦播種、里芋収穫、大根漬け』

〈とき〉平成21年11月28日(土) 9:30～17:00

〈ところ〉谷っ戸ん田上の大豆畑跡/ナス畑/大根畑・谷っ戸ん田上の作業場/堀の内の里芋畑

〈天気〉晴のち曇り 穏やかに晴れ、風の暖かな作業日和。

〈参加者〉麻場、石田、加藤、霧生、久保、坂本、柴田(午前)、高橋、高見、藤田(午前)、松本夫婦、野地(ハンモック)、テツさん。 計14名

★午前 9:30スタート

〈上の大豆畑跡〉 全員

前日テツさんが畑上に分散して置いた堆肥の山を広げる作業。経験者の麻場さんの指導でスムーズに広げた後、テツさんがトラクターにて耕耘。整った圃場に鍬で畝を作り、種小麦を播き、除草剤を散布(トレファノサイト/3kg入り正味1袋分)。小麦の品種:農林61号。
小麦播種後、下のナス畑にて古株の撤去(残ナスの収穫)。こんにゃく芋の掘り出し(小粒のものが少々出た程度)。



★昼

ハンモック・カフェのメニュー

メイン:玄米ごはんとキャベツのミートソース煮。

サイド:おからとさつまいものキャラメルケーキ・

柿のキャラメルマフィン・梅ジャム。

飲み物:ベトナムコーヒー・ゆず茶・ダージリンティー。

食後は、ハンモックでの昼寝・談話等。

(休憩時間に霧生さんより那須土産のゴマ饅頭の差し入れあり)



★午後:二手に分かれての作業

〈大根畑と上の作業場〉 麻場、加藤、久保、松本(妻)、テツさん

2列分を引き抜き、上の作業場に搬送。それを洗う作業と、11/14に漬け込んだ大根の漬け直しの作業を分担で行う。その後、洗った大根を皮むきし、15cm位に横切りし、それを太さに応じて2～4つに立割して漬物桶へ、調合液を合間に添加しながら漬け込み、上に押し蓋・重石を置いて終了(大根のさわやか漬けの仕込み完了)。調合液の内容:大根51kgに対して、酢1,000cc・塩2,000cc・砂糖5kg。

〈堀の内の里芋畑〉 石田、霧生、坂本、高橋、高見、松本(夫)。

テツさんが芋掘り用トラクターを運搬し、石田さんがそれを操縦・掘り返った里芋を拾い集め、株状の物を、並行作業にて掘った貯蔵穴に納める作業。バラになった芋はコンテナに回収して持ち帰る。合計4列分を掘り返し、約5m³(目測)の穴に収めた。その後、石田さんが麦藁を持って来て貯蔵里芋の上に敷き詰め、その上に盛り土をして完了。休憩時間に石田さんより、リングチョコビスケットの差し入れあり。

17:00全作業終了。

作業後にテツさんより、収穫したナス・里芋と、大根・ニンジン・セロリの自家狩りのお土産を頂く。何時もながら、自家狩りの時間は至福のひとつですね、感謝。

次回 12/5(土) 予定(赤米・大豆・蕎麦等収穫済みの作物の脱穀作業他)

(記録:松本純、大根収穫と漬物作りの部分は洋子)



「カメラ向けられると、
手が止まるんだよ」



「しまった、
また紐を切っちゃった」



播いた麦。農林61号。



「えっ？写真撮ってるの？
ビシッと決めたのに」



「こんにゃく掘りは任せろ！」
「・・・(みんな注目、沈黙)」



「午前中は紐切って反省…」
「ランチ食べて、元気だせよ」



「ああ、おでん食べたい」
「おでんならお多幸だって。
クボさ〜ん、連れて行って！」



「さわやか漬けの“さわやか”
って、私たちのことね」



「さわやか漬けて、
オレ達のことさ！」



「里芋掘りと思ってたら、
穴掘りでしたあ…」



里芋を穴に埋めていきます。



穴の四隅に目印を。

第30回 『里芋掘り&貯蔵、大豆の脱穀』

と き 平成21年12月5日（土）9：30～16：30

ところ 上のハウス-堀之内畑-上のハウス

天 気 曇りのち雨

参加者 園主（テツさん）、▲麻場、石田、▲磯、加藤、久保、柴田、高橋、▲高見
△松本妻、吉田（11名、△は午前・▲は午後の参加）

【午前・大豆の脱穀、サトイモ堀と貯蔵】

- 9：30上のハウスで大豆（黒豆）の脱穀、クボタのビーンストレッシャを試運転的に30分ほどで終了して、雨が降らないうちにサトイモを仕上げることにする。
- サトイモ。機械にからまないように畑の草を手鎌でざっと刈る。ユンボで掘ってあったサトイモ保存用の穴に溜まっていた水を抜く。イモ掘り用アタッチメントを装着したトラクターで掘り起こし、出てきたサトイモを運ぶ。今回はキャタピラ運搬車ピンクレディ号を使用する。収穫量は、穴の大きさ10m×0.8m×0.6m分として、約5m³、重さにするといくらになるでしょうか。プラス、ばらけたイモがコンテナ3杯（黄色の中型コンテナ2つ、青色の大型コンテナ1つ）分。終了時間12時半。ヤツガシラは降雨につき収穫を断念。サトイモに麦藁を敷いて土をかぶせたが、麦藁が足りないので、カヤを手当てするまでブルシートをかぶせて一時の対応とした。

【昼食・作業小屋で】

- 昼食は作業小屋にて。
- 石田さんからリンゴの差し入れ、また、午前の休憩時間に松本さんから京都土産、八橋クランチをいただきました。

【午後・大豆の脱穀】

- 大豆脱穀の再開、黒豆は終了したが白豆の途中で日没、次回繰り越しとなった。黒豆の量は、約10kgと15kgの2袋、計25kgと想定するが次回の確認とする。

【その他】

- 麻場さんの入籍結婚報告あり。コングラチュレーション。
- 先週漬けた「さわやか漬け」お土産にいただきました。我が家では大好評、食卓がたいそうさわやかになりました。

次回作業予定：12月12日9：30～ 大豆脱穀、そば脱穀など

（記録：高橋広明）



完璧なくらい里山に不調和の施設が姿を現しました。



「今日の作業は、オマエが頼みなんだ！
しっかり動いてくれよ」



「かなりウルサイ機械だけど、まあ順調だね」



里芋の収穫開始。
でも、今にも降りそうな空模様。



先日掘った貯蔵用の
穴に水溜りが！！



「この重さが収穫の喜びなんだ」



「タカハシ、補修を完了しました！」



「オレが見ていると、よく働くみたいだなあ」



「今日はしっかり働いているでしょう？」
「うん、でもナミがあるね」

午後から脱穀を再開。でも機械の調子が…。
みんなで見ても直りませんが。



第31回 『大豆（白豆）とソバの脱穀』

■と き 平成21年12月12日（土）9：30～16：30

■ところ 谷っ戸ん田入り口の坂周辺と直売所上にあるビニールハウス

■天 気 晴れ

■参加者 園主（テツさん）、麻場（午前）、石田、加藤、霧生、久保、佐々木一家、
柴田（午後）、高橋、高見（午前）、松本（夫）、百崎一家（計16名）

【午前：大豆の脱穀】

- ・ 坂中段にあるハウスにて、11月14日に収穫して乾燥させていた白大豆（津久井在来）の脱穀作業。結束を解いて大豆をばらす→機械をつまらせないように根の部分を取りとる→クボタのビーンズスレッシャー（ヤンマーのキャタピラ運搬車付）にかけて大豆を分別する→茎葉を片付ける→シートに落ちたり枝に残った大豆をふるいを使って集める・・・という流れ。
- ・ 途中から数人が作業小屋前のハウスへ移動。シートを広げ、こちらに干していた大豆の脱穀準備。
- ・ 石田さんや優くんからの差し入れのお菓子をいただきながらしばし休憩。
- ・ 先のハウスでの作業終了後（収穫：一袋約20Kg×7袋分）、ビーンズスレッシャーを小屋前のハウスへ移動。同様の流れで脱穀作業を行う。

【昼食】

- ・ 作業小屋周辺で各自昼食。
- ・ さわやか漬けの差し入れをいただく。

【午後：大豆とソバの脱穀】

- ・ 作業小屋前のハウス内で脱穀作業を完了する。（収穫約3袋分）
- ・ 14時半頃、テツさんの直売所上のハウスに全員移動。干していたソバの脱穀。
（※結束した内側のソバは若干湿り気が残っていた。）
- ・ ソバの脱穀は皆、初めての作業。始めは手でしごいたり足で踏んでみたりしたが、最終的にはトマト用の長い支柱で叩いて実を落とす方法が有効という結論に至り、後半は全員でひたすら叩く。
- ・ ソバの実を落としたあとの茎を隅によせた後、シートの上にソバの実を払って干すところまでで、16時頃終了。

【その他】

- ・ 大豆できは、昨年に比較すると随分よかったとのことで嬉しかった。
- ・ 日中気温が上がったせいもあり、ハウスの中での作業は沢山汗をかいた。

【次回】

- ・ 12月19日（土）ソバの実の選別、赤米の脱穀等の予定

（記録：霧生）



「機械が詰らないように根っこを折るのはタイヘン」



「先生、女性に力仕事させていいんですか？」
「イイトモ！」



1つ目のハウスから機械を移動開始。



2つ目のハウスで脱穀開始。順調！



「お〜い、自分では拾わないのお〜？」



「落ちているお豆はちゃんと拾ってネ」



7月に蒔いた種を見事に収穫。
夏の草取りの成果です。

3つ目のハウスで
蕎麦の脱穀。まずは、
踏む、踏む、フム。



次は、叩く、叩く、タタク。



ソバアレルギーの人、ご注意下さい。

第32回 『ソバの選別とジャガイモの収穫』

■と き 平成21年12月19日(土) 9:30~16:00

■ところ テツさんの直売所上のハウスと瀬谷の畑

■天 気 晴れ

■参加者 園主(テツさん)、石田、加藤、霧生、佐々木一家(午後)、高田妻、百崎一家(11時過ぎ~)
(計11名)

【午前：ソバの選別】

- ・テツさんの直売所上のビニールハウスで、脱穀して一週間乾燥させたソバの実をミと箒で集める。ソバが大きなトレイに落ちる様に穴あきのコンテナで簡単にふるい、枝や茎を取り除く。枝や茎は大きな袋2つに入り切らなく、ハウス脇に積んでおく。
- ・ハウスの上でカンリウハイトーミ(電動風選機)を使って選別をした。計袋3つ45Kgくらい?
- ・石田さん、霧生さんからお菓子の差し入れ。

【昼食】

- ・作業小屋前で各自昼食。
- ・高田さんから岩手産林檎の差し入れ(蜜入りで美味しい!)

【午後：ジャガイモの収穫】

- ・瀬谷の畑に移動して、ジャガイモ(品種はキタアカリ、普賢丸)の収穫。シャベルで土をほぐすも、雑草が生い茂り、畝を見逃しがちで作業が難しかった(コンテナ8分目で3つ分)。
- ・麦踏みをする。
- ・ジャガイモのお土産をいただく。

ハウスが暖かったせいか、瀬谷の畑の寒さが身に沁みました。地下足袋は冷えます。

【次回】

- ・12月23日(水・祝)または26日(土) 作業小屋の片づけ&忘年会?

(記録：百崎満晴)



前週の続きからスタート。

機械での選別が続きます。



「オレも、早く蕎麦が食べたい！」



久しぶりにマドンナ参上！
「早く、お蕎麦が食べたい」



「軍手でジャガイモをいっぱい集めたよ」



ジャガイモ拾いは、子ども達のお仕事。



「師走でなく、師掘だね」



砂利道だって
自分たちで補修します。



「道を直してるんだって」「なんで？」「・・・」



麦ふみ筋トレ中。



第33回 『片付け全般と赤米の脱穀』

■と き 平成21年12月23日（水）9：30～17：00

■ところ 谷っ戸ん田、作業小屋下のビニールハウス、直売所上のビニールハウス及びその上部の広場

■天 気 快晴

■参加者 園主（テツさん）、佐々木一家（午前）、高田夫妻、吉田、高見（記録）（計8名）

【午前】

- 廃材焼却処分
 - ・ 谷っ戸ん田に集積された廃材及び選定枝葉を焼却処分（良く燃え上がったので、『野焼き』の通報を心配しました）。
- 蕎麦ガラの処理
 - ・ ビニールハウス内にまとめてあった蕎麦の実を外した残りガラをトンバグに詰めて搬出。テツさんが広場の堆肥場にダンプトラックで運搬。詰め込み分を含め、6袋分。
- 赤米（紅ロマン）集積
 - ・ 谷戸田上のビニールハウスで乾燥の赤米を紙の米袋に仮詰めし、直売所上のビニールハウス上広場に運搬。
- 赤米（神丹穂：カニホ）集積
 - ・ ポニーにはざ掛け分も集積し、手で脱穀。
- 粳摺り
 - ・ 粳摺り機にて粳摺り。1回だけでは摺り残しがあったため、2回かける。
※オータケRもみすり機『ミニダップ』、み×4個、大型バット×2基、竹ぼうき

【昼食】

- ・ 豆吉号の休業につき、めいめい買出しで昼食。

【午後】

- 赤米（神丹穂：カニホ）
 - ・ 作業小屋下のビニールハウス内で乾燥分を含め、紙の米袋に仮詰めし、直売所上のビニールハウス上に運搬。
- 粳摺り（午前の続き）
 - ・ 粳摺り機にて粳摺り。紅ロマン×4.5袋。
 - ・ 神丹穂の粳摺り。こちらは日没のため一回粳摺りで終了し、後日2回目粳摺り予定。現時点で2.5袋。
- 大豆ガラ等の処分（テツさん、吉田さん）
 - ・ 堆肥場にダンプトラックで運搬。

【その他】

- ・ テツさんから15時に飲み物『ほっとレモン』をいただいた。少し気温が下がり始めたときで、最高のタイミングでした。

【次回】

- ・ 12月26日（土）餅つき、忘年会（25日に準備作業も）。

（記録：高見元久）



谷っ戸ん田 煙たなびく 冬景色



「一年間、お疲れ様でした」
「カンシャ、カンシャ」



「赤米にカンシャ」



「あなたにカンシャ」「君にカンシャ（照れるなあ）」



「なんだかなあ…、まあジブンにカンシャか」

番外編 『餅つき&忘年会』

■と き 平成 21 年 12 月 26 日（土）9：30～

■ところ 谷っ戸んだの上の小屋

■天 気 くもりのち晴れ

■参加者 園主（テツさん・開始時）、石田、尾末夫妻、磯、加藤、霧生、久保、佐々木（妻）・優くん、高田（妻）、高橋、高見、田中、野地、福富、松尾、松本（妻）、百崎（妻）・まるちゃん、吉田（計 21 名）

●前日準備（13:30～） 園主（鈴木）、石田（1 時間のみ）、加藤、佐々木一家、松本（妻）
お米研ぎ（30kg）・水に浸ける、臼・釜のセット
今年のはし餅 1 枚 1,000 円＝予約 15 枚＋食べる用として 30kg のお米を用意

●当日（9:30～16:00 過ぎ解散） 12:00 乾杯
心配していた雨も止み、風もなく日中はぽかぽか陽気。

【園主よりお借りしたもの】臼・杵・電動餅つき機「もちろん」他

【持参】ボウル、皿、ザル（大・小）、さいばし、スプーン、おろし金、タッパー・バット（餅小分け用）、おたま、布巾（多めに）、しゃもじ、包丁（余裕を持って用意）、ビニール袋（大・小）、クレンザー、だし醤油

【買出】のはし餅用ビニール袋（JA）、とり粉（かわはら菓子店）、きなこ、納豆、豚肉、のり、ごぼう、えのき、こんにゃく

【差入】ビール・大根・人参・巨大小松菜・里芋（てつさん）、ネギ・ゆず・りんご（石田）、肉じゃが・白ワイン（百崎）、キムチ（佐々木）、ドライフルーツ（高橋）、つぶあん・おつまみ（松本）、ワイン・こしあん・みかん・チーズ（野地）、寿司（福富）、〇い〇け（加藤先生？）、日本酒（柴田→石田）

【準備】机を出し成形台を置く、火起こし蒸し器の準備、臼にお湯をはり、杵をお湯につけるなど。
鍋底はすすがつかないようにクレンザーを塗る。豚汁の下ごしらえ。

《餅つき》

蒸籠（せいろ）にさらしをひき、ザル（小）にもち米 3 杯半、中心をくぼませてさらしをかぶせる。
蒸し時間は 20～30 分。

↓

さらしの端を持ちながら臼に米を移し、杵で米粒がつながるまで押しつぶす（こねる）。
電動餅つき機はお米を移し、10 分を目安にこねる。

↓

お米がつながったら餅つきスタート。

★餅のつき方★

①まず、臼の中心に杵が降りるよう臼と自分の間合いをとる。

②杵は振りかぶりすぎないようにあげ、杵の重みでつく。

上の手は降ろす時に下にスライドさせるよう握るとぶれずにつける。

最後、つく時に餅をこすりつける用に降ろせばベスト！

腕や上半身よりもむしろ息切れしないペースで腰を使ってつく。返しをする人がつき手をリードする。

★餅のかえし方★

すぐに食べる餅であれば水気が多くても OK。杵があがる瞬間にかえすのがベスト！

餅がつきあがったら、とり粉を撒いた台に移し、もちをなまこ形にして半分に切る。

半分は木型で成型、半分は直接のし餅ビニールにいれて成型。

★手で伸す場合★

ビニールの端まで餅をつめ、のばし棒で平らに成型

★押し板（木型）で伸す（成型する）場合★

木型にとり粉を撒き、餅を移し伸す。平らな台に移して餅がある程度冷めてから袋に入れた。

きれいなござや包装紙を用意しておいてもよかった。

★食べる用★

お湯についた餅をいれ、手で食べやすい大きさに分けでそれぞれ味付け。

きなこ・磯辺・納豆・からみ・大福・こしあん・つぶあん。

今年のはし餅 18 枚 1,000 円／枚、食べる用はせいろ 1 個半でした。

《豚汁》

谷っ戸ん田特性「悪魔味噌」を初試食。豆の味がしっかりする、とっても美味しいお味噌でした。

具たくさん豚汁を派遣村のごとく整列して配給、段ボールをテーブルにさせていただきました。

甘みのあるやさしい味で、とってもおいしかったです。

《片づけ》

成型台は水気厳禁なので、乾燥させて餅こびりつきをとる。

《お土産》

- ・のしもち（希望者のみ）
- ・味噌（残りはグリーンにて熟成してもらっています）
- ・たくわん
- ・巨大小松菜

今年もてつさんは前日からほとんどの準備をしてくださったそうです。

そして、てつさんには不参加にも関わらずたくさんの差入れと場所の提供をいただき、お陰様でとてもスムーズに楽しい餅つき大会となりました。本当に感謝の思いでいっぱいです。

また、前日準備や、当日各ポジションの中心となって動いてくださったみなさん、どうもありがとうございました。

来年こそは自分たちでてつさんをおもてなしできるようにしたいですね。

今年もお天気にも恵まれて、日本の年末をおいしく楽しませていただきました。

来年の餅つき大会では、全員参加の谷っ戸ん田踊りで盛り上がりましょう。では、よいお年を。

（記録：田中萌）



「次のハンモックランチは、お餅を使おう」



「うーん、おもちが見えないよお」



「機械は楽だねえ。見てるだけ」



「ゴルフで鍛えたこの腕で、エイッ！」



「掛け声かけて、それっ！、エイッ！」



「愛情いっぱいのおもちはいかが？」「照れるぜっ」



「ブログに掲載しま〜す」



「クボさん、写真はいいから練習始めようよ」



カンパニー!



ミナミ子、いま〜す!!



第34回 『赤米の脱穀と粃摺り、大根のおろ抜き、大根の漬け込み、片付け等』

■と き 平成22年1月9日(土) 9:30~16:30頃

■ところ 作業小屋前のビニールハウスとその周辺、裏手の畑、十日市場の田んぼ等

■天 気 晴れ

■参加者 園主(テツさん)、石田、加藤、霧生、久保、佐々木一家、柴田(午前)、高見、
田中(午前)、松本夫妻、吉田(午前)

本日のゲスト: 黒澤(NPO法人セカンドハーベスト ジャパン2HJ) 合計 15名

■活 動

【午前】谷っ戸ん田の広場に集まり新年の挨拶後、3グループに分かれて作業開始。

① 大豆殻の片付け

* 場所: 作業小屋前のビニールハウス / * 時間: 10時~10時半頃

* 担当: 石田、佐々木一家、田中、松本(妻)、黒澤、霧生

* 作業: ハウス内の大豆殻をフレキシブルコンテナバック(フレコン)3つにまとめ、軽トラで堆肥置き場へ運搬。その後、ハウス内の片付け。

② 赤米(神丹穂)の粃摺り

* 場所: 直売所上堆肥ヤード前広場 / * 時間: 10時~10時半

* 担当: 松本(夫)、吉田、高見

* 作業: 昨年、粃摺り一回で終了のため、粃摺機で二回目の粃摺り。終了後、米袋2袋に仮詰め。

* 用具類: 粃摺機、大型バット、手み、肩掛け式容器、竹ぼうき

③ 大根のおろ抜き

* 場所: 作業小屋裏の畑 / * 時間: 10時半~11時半頃

* 担当: ①②の担当者が合流

* 作業: 10月中旬に種をまいた3畝の大根。畝の両端の列は2本、中央の列は1本生育のよいものだけを残して間引く(コンテナ7杯分)。上記大根の畝と、隣接するほうれん草の畝に、トンネル型に支柱を立てて防寒用のビニールカバーをかける。

④ 赤米(紅ロマン・神丹穂)の脱穀

* 場所: 作業小屋前のビニールハウス / * 時間: 10時~12時半頃

* 担当: 加藤、久保、柴田 + ③合流

* 作業: 種まき用の赤米脱穀(畳み帯に稲が7束程度しばってあり、それが各種4束ずつあった)。機械などないため、1本ずつ丁寧に手で脱穀→バケツなどに種粃を入れていく。予想以上に時間がかかり、最後は全員で片づけていく。紅ロマン、神丹穂共に、米袋に入れていく。量は具体的ではないが、20キロ程度入る米袋に6割近く種粃が入った(微妙な距離感と視線の元、普段とは違う会話が弾んだ?)。

【昼食】

作業小屋周辺で各自昼食。佐々木さんより、仙台土産のお菓子をいただいた。

【午後】

⑤ 赤米(紅ロマン)の脱穀

* 場所: 作業小屋前のビニールハウス / * 時間: 13時半~14時頃

* 作業: 午前中の継続。手作業で脱穀を完了し、ハウス内を片付ける。

⑥ 大根の漬け込み

* 場所: 作業小屋前 / * 時間: 14時頃~15時半頃

* 作業: 漬け込み用樽や袋の洗浄や、根菜洗浄機の準備。谷っ戸ん田奥の大根畑からあおくび大根を収穫し、作業小屋へ運搬。漬け込み作業: 大根の葉としっぽを包丁で落とす→(共立)根菜洗浄機で水洗い→落ちきれていない泥を手洗い→緑色の部分と白い部分に切り分ける→厚手のビニール袋をひいた漬物樽に白い部分だけを並べて塩をふる→ビニール袋の空気を抜いて口をしぼる→板をかぶせて重石をのせる。計2樽分の漬け込み完了(次週、たくわん漬け専用の麴等で調味予定)。

⑦ 稲藁の片付け

* 場所：テツさんの十日市場の田んぼ / * 時間：15時半頃～16時半頃

* 作業：・2tダンプ1台、軽トラ1台にて十日市場の田んぼ2枚の稲藁を回収・搬入。畳紐でたてかけてある2山を1束にしたが、もとの山の大きさが違ったりで…。搬入した藁束を乾燥するために、坂中段にあるビニールハウス内にて並べる。居残り組は、小屋周辺の清掃等。※利用者は「来たときよりも美しく！」で！サスガ主婦！ありがとうございました。

【その他】

おろ抜き大根の中には20cmくらい成長しているものもあり、2本が相互にからみついた「ねじねじ大根」もあった。何となくおめでたい感じがしたが、テツさんは見向きもしませんでしたね。以前に漬けたたくわん、おろ抜き大根、漬物に使用しなかった大根の緑色の部分、人参等を土産にいただいた（感謝）。※みんなに配って残ったものはグリーンでいただいた。2HJの黒澤さんも持ち帰ったが今回は運送手段が準備不十分だった。

（記録：霧生）



新春はハウスの片付けから。



赤米の脱穀。手作業！



「いつ終わの？」「今年中には…」



赤米の粳摺り作業。
こちらは機械で。



大根のおろ抜き。



谷っ戸ん田の大根は元気よく宙を舞います。



「重さがバラバラだねえ。ビシッとやってよ」「ボク、ビシッとやるよ。う～ん重い」

第35回 『谷っ戸ん田奥の畑の片づけ、落ち葉かき、大豆選別、沢庵の調味漬け』

■と き 平成22年1月16日(土) 9:30~16:30

■ところ 谷っ戸ん田奥の畑、谷っ戸ん田山、作業小屋前のビニールハウス

■天 気 快晴気温低い

■参加者 石田、磯(午後)、霧生、久保、佐々木一家、柴田(午前)、高田(直)、高橋、高見、藤田(午前)、松本(純)、吉田 合計14名 &ハンモックカフェ野地さん テツさんは都筑興業

■活 動

【午 前】谷っ戸ん田の広場に集合、グループに分かれての作業

*大豆の選別：作業小屋前のビニールハウス(女性チーム：高田(直)、霧生、藤田)

赤松山(かつて赤松が生えていたという)の作業小屋前のハウスで、目の大きさの違うふるいを使って、脱穀済みの大豆(津久井在来種の白大豆)を、白く大きな大豆のA品と小粒のB品に分け、虫食いやゴミをとり除いた。殻付きもたくさん残っていて、一人がかかりきりで殻をむいた。

11時にお茶タイム。雑木林広場に集まり、抜けるような青空をみんなで見上げる。台湾帰りの野地さんのジンジャー豆花でエネルギー補給。山に積まれた落葉に腰を下ろすと、思った以上にふわふわで、すっぽりもぐりこむ。蓑虫の気分。

*12時半まで作業。紙袋に入れたA品は、午前中で30kgくらいになった。

*谷っ戸ん田奥の畑の片づけ：10時~10時15分(男性チーム)

唐辛子ピーマン、シシトウ、ナスの枯れ茎と支柱を抜き、ビニールマルチを片づける。

*落ち葉かき：10時15分~11時と休憩をはさんで12時半まで

熊手4本、ブロア1台使って落ち葉をかき集め、フレコンバッグ(3袋用意)に詰めて、堆肥場に運び、上から堆肥をかける。落ち葉に埋もれる者多数発生。午後に足をつる者も。実績、午前中では、フレコンバッグ33袋。

【昼 食】

谷っ戸ん田でたんもつくランチ(ネギ玄米ご飯と白菜お鍋)。吉田さんより、富士山方面温泉の土産のお菓子をいただいた。日当たりのいい冬の雑木林のハンモックもうれしい。

【午 後】

*大豆の選別：メンバー変更(石田、佐々木利江、高田直子、高橋)

作業小屋前のビニールハウス：13時半~15時。最後は全員で16時半まで。

ハウスに保管中の3袋は最終的に、

A品：30kg リットル桶×2.5=75kg

B品：30kg 桶×0.5=15kg

鳥餌品：少々。

0.5桶分は未選別として残っている。

*落ち葉かき13時半~15時頃。実績：霧生さん(5袋)+?袋

*竹林の視察(石田、久保、高見) なかなか手強い相手だが戦ってみたいと思案する。

*沢庵の調味漬け

塩漬けしてあった大根を樽から出し、再び詰めるときに、JAの沢庵漬けの元「A-COOP製の麴漬けの素(たくあん漬け用)」と砂糖などで調味料を作り、振りかけた。優くんが張り切って働いてくれた。後ほどテツさんに尋ねると、塩の量がぜんぜん足りなかった。樽当たり2kgくらいは必要なのに一桁少なかった。次週に塩を足すべし。

(記録：高橋広明)



ツグミが
渡ってきました。



男性陣は畑の片付けからスタート。



落ち葉かき。ブロアを使って攻めます。



「ゆう君、この中あったかいよ」
「タカハシさん、早く運びなよ」

「休憩中は撮影禁止！！」



「ジンジャー豆花（トーフア）
って言う新作です！」



女性陣は大豆の選別。



「落ち葉のおふとん、あったかいよ」



「アタイも、ハンモックに乗りたいなあ」



「ねっ、手つきが決まっているでしょ」



A級、B級、鳥用、クズにみんなでランク分け。
みんなでやっても、終わらない・・・。

第36回 『大豆の選別と沢庵の調味漬け直し』

■と き 平成22年 1月 23日(土) 9:30~14:00

■ところ 作業小屋前のビニールハウス

■天 気 快晴

■参加者 霧生(午前) 久保、坂本、佐々木母子、高田(直)、高橋、田中 合計 8名
石田さんが様子を見に10時と12時に来訪。

■活 動

【午 前】

* 大豆の選別：作業小屋前のビニールハウス

前回、目の大きさの違うふるいを使って、脱穀済みの大豆(津久井在来種の白大豆)を、白く大きな大豆、A品と、小粒のB品に分け、虫食いやゴミをとり除いた。

今日は、大豆A品を再度の選別にてS=スーパープレミアム谷っ戸ん田ブランドの商品化にむけてがんばった。しかし、豆の粒や品定めに個人的なばらつきがあるのはいなめない・・・。

B品は、船に2分の1ほど残。Sは、30L樽×2。B品の仕上がりは30L樽の半分(こちらは、味噌作り用)？

残りの袋は、黒大豆2つ、白大豆2つ。

* 11:00にお茶タイム

優くんの大好きな塩キャラメルは、差し入れた後、作業の暇つぶしに優くんが一人で食べた。

12:00まで作業

【昼 食】

* カフェは、お休みにて、それぞれで食べる。

飯田に就農した佐々木の友人が作って販売している「市田柿の干し柿」を頂く。中々、好評！優くんは干し柿の食感が今一らしく食べない。

【午 後】

* 12:30開始。

* 沢庵の調味漬け。

30L樽×2。上がっていた塩水を半分すて1樽の半分位の大根を取り上げ、先週の不足分の塩を1kgずつ追加した。優くんがてきぱきと手伝ってくれた。

* 大豆の選別：午前中の継続。

* 14:00には終了し、片付けの後、「露の団六 落語&講演会の会場徳恩寺」へと移動。

(記録：佐々木利江)



11月28日に蒔いた麦が顔を出してきました。



「ダイズばかりやってないで、だれか遊ぼうよお」

ランク分けされたスペシャル品。



「腰が調子よくないんだ」
「今言われても・・・」

「塩加減はまかせてね」



第37回 『落ち葉かき&うど畑の整理』

- と き 2010年1月30日(土) 9:30~16:30
- ところ 谷っ戸ん田上の雑木林、尾根沿いのうど畑
- 天 気 快晴 作業日和
- 参加者 石田、尾末(AM)、加藤、霧生、久保、佐々木父子、高田夫妻、高橋、高見(PM)、
松本(純)、野地、てつさん(PM) 合計13名+子1名
- 活動内容
- 【午前】落ち葉かき 熊手6本、フレコンバック4枚、スコップ2本
前回の続きで、主に雑木林の左側を行う。熊手で集めた落ち葉をフレコンバックに詰め、たい肥置き場まで運ぶ。スコップで落ち葉とたい肥をまぜる。
途中おやつ休憩。石田さんからハワイのお土産(こしひかりクッキー)、松本(洋)さんからきなこチョコ、優くんからミルクィーの差し入れをいただいた。
その後昼までひたすら落ち葉と格闘。
- 【お昼】ハンモックランチ 大根と玄米のカレー&トッピングは谷っ戸ん田の白菜
ラスク、パン数種類、パウンドケーキ、東ティモールコーヒー、他
食後は快晴の下、ハンモックで昼寝。優くんがハンモックから落ちた?! 泣く声が谷戸に響いた(そういえば優くんの泣いたところをあまり見たことがないね)。
- 【午後】尾根沿いのうど畑の整理 刈払機3台、熊手、鎌、工作用ナイフ、園芸用ハサミ
最初に枯れたうどの枝や葉、雑草を集めて燃やす。次に畑中にはびこっているクズのつるを刈払機や鎌を使って地際から刈り取り、これも燃やす。
途中からてつさん登場! 一段と作業がはかどる。最後に熊手で集めて終了。最初からは想像できないくらい綺麗になった。
てつさんから白菜をいただく。
谷っ戸ん田に戻り、ちょっとだけミーティング。今回から記録の作成は順番制(あいうえお順、久保さん除く)と決める。ちなみに今回は高田なので次回からは高橋→高見→田中と続きます。

(記録: 高田直子)



「二人のびったりの呼吸を
邪魔している気がする…」



左：2本の木に紐を付けハンモックをつなぎます。
下：ハンモックの高さを見ながら反対の紐に。
右：座って高さを確かめます。ちょっと深いかなあ。



「ノジちゃん、ちょうどいい高さだよ～」



カレー丼のトッピングは、谷っ戸ん田産の白菜。

「みんな作業しているのに」「ワタシハウドノタイボクでしょうか？」



落ち葉をかいて、ウド畑を整理して、
さっぱりしました。

第38回 『味噌仕込み、大豆選別、うど掘り上げ及び植え替え』

■と き 平成22年2月6日(土) 9:30~17:30頃

■ところ 作業小屋内、ビニールハウス、赤白鉄塔下の畑 / ■天気 快晴

■参加者 園主(テツさん)、石田、尾末、加藤、久保、坂本、佐々木一家、柴田、高田(直)、高橋、高見、田中、松本夫妻、百崎一家 合計 17名+子2名

■活 動

【午前】

○味噌仕込み：米糀みそ 場所：作業小屋内 / 時間：9時40分~12時半頃

担当者：石田、尾末、(加藤)、柴田、田中、高田妻、松本夫妻

使用用具：ミンチ製造機×1台(電動のモチ練り機：石原家から借りてきたこだま2号。グリーンの手動の豆ミンサーもあったが使わなかった)、樽(20ℓ)×3+3、ボウル、大鍋、手鍋、ザル、おたま、穴あきおたま、マッシャー、布巾、・・・・・・?

作 業：2日間かけてグリーンで煮ておいた大豆8kg×2及びミンチ製造機、その他の道具を乗用車2台で小屋まで運搬。麴(8kg)と食塩(3.5kg)を十分に混合した後、ミンチ製造機で粉碎した大豆と鍋やボウルで混ぜて丸め、仕込み樽に空気が入らないように叩き付けて充填する。

○大豆選別 場所：作業小屋前ハウス / 時間：9時40分~12時半頃 / 担当者：久保、...

使用用具：バット、ふるい、ざる

作 業：欠損や虫食い跡のある豆と無傷豆を選別・等級分け(特等品など)。

○うど掘り上げ・小割り 場所：赤白鉄塔下の畑 / 時間：9時40分~12時10分

担当者：園主、坂本、佐々木一家、高田(直)、高橋、高見、百崎一家

使用用具：ミニバックホウ、ナタ×2、鋸×2、鎌×2、包丁×2、角材台×3

作 業：園主がミニバックホウを操作して50cmほど掘削し、うどの株を掘り上げ。うどとクズの蔓(畑の隅に集積廃棄)を区分してうど株だけを畑の一部に集積し、新芽及び元株部と長い根の部分をナタや鋸等により分離。根は15~20cm程度を残す。株の大きいものは縦に二分または新芽が残るように小割りし、茎の長いものは10~20cmに小分け。

【昼食】 広場でハンモックランチ。いつものようにハンモックが張られたが、気温が低いためか休憩者少数。みなさん、厚着できるように準備しましょう! 勤務明けの吉田さんより、温かい飲み物(緑茶、レモンなど)の差し入れ。

【午後】

○味噌仕込み：麦麴みそ・米麴&麦麴みそ

場所：作業小屋内 / 時間：13時40分~16時半頃、その後片付け及び機材運搬。

担当者：石田、加藤、田中、松本(純)

作業：午前と同様の作業。だが、午前に糀を一袋忘れていたので、午前に仕込んだ味噌と混ぜ合わせる。その後、麦麴の味噌を仕込み、残った米糀の味噌、麦麴の味噌を混ぜて、米麦ミックス味噌を1樽に入れて、合わせて3樽仕込んだ。仕込みを終えて、道具をグリーンに戻し、洗った。

○大豆選別(午前の続き)

場所：作業小屋前ハウス / 時間：13時40分~17時頃 / 担当者：久保、佐々木、松本(洋)

使用用具：バット、ふるい、ざる

作 業：欠けたり虫食い跡のある豆を選別・等級分け(特等品など)。

白大豆 ⇒ B級、鳥餌用の選別。黒大豆 ⇒ プレミアム用(特級)の半分終了。

○うど掘り上げ・小割り(午前の続き)、畑耕起及びうど植え替え

場所：赤白鉄塔下の畑 / 時間：13時40分~17時10分

担当者：園主、坂本、佐々木一家、柴田、高田(直)、高橋、高見、百崎一家

使用用具：ミニバックホウ、トラクター、ナタ×3、鋸×2、鎌×2、角材台×3、運搬用籠×3、鍬×4

作 業：ミニバックホウでうどの株を掘り上げ、集積したうど株の根の切断・株の小分け。
うど株を掘り上げた畑をトラクターで耕起・整地し、東西方向に深さ30cm程度に鍬で溝を掘る。溝の間隔は70cmとした。溝に小分けしたうどの株を芽の向きが同一となるように50cm

間隔で並べ、足で覆土して軽く抑えて定着させる。溝は全部で20列くらい。

- ※ 掘り上げたうどの株は 50cm×50cm 以上と大きく、成長した根をナタで切断する。作業中、狙い通りにできた快感と手元が狂ったときの落胆と両極端な喚声上がる。
- ※ 掘り上げたうどは3倍ほどに株を増やす目的であったが、予定したほどうど畑が拡張されなかった。何故？
- ※ 子供達（午後、まる+優に加えて園主の甥っ子が仲間に）は葛の蔓を縄跳びにして遊びに興じる。大人は「郵便屋さんの落とし物？」に加わって地面のはがきを拾うには少々体力不足。

【味噌仕込み解説】

＜下準備＞

大豆 8kg を一晩水に浸し、鍋に大豆とひたひたの水を入れ煮る。（今回は弱火で7～8時間）
親指と小指で豆をはさみ、つぶれるくらいまで柔らかく煮ればOK

＜当日＞

使用する道具・手・腕を焼酎で消毒する。鍋を弱火にかけ、煮汁をきった豆をつぶし機（こだま号）にかけてペースト状にする。麴をボウルにうつし、天然塩を加えて塩きりしながら一粒一粒パラパラになるまで揉み解す。つぶした大豆を加えてよく混ぜ合わせる。硬い場合はあめ（大豆の煮汁）を加えて調整する。混ぜ終わったらおむすび大の味噌玉をつくり、樽に打ち付けるように投げ入れ、空気を入れないように詰めていく。入れ終わったら手で表面を平らにならし、ポリ袋をかぶせて塩をまんべんなく敷き空気がはいらないように密閉する。

※作業前はグリーンに道具を借りに行き、作業後洗いものをして終了。

煮た大豆を火にかけているときから、お味噌汁の匂いがして、麴を塩きりしているときもお味噌の香りがしましたが、混ぜたものを味見したらまだまだ塩からくてお味噌ではありませんでした。一粒づつ選定した大豆で愛情込めてこねたのでおいしいお味噌が出来上がるのが楽しみです。今回で家でも作れるいろいろな加工品を知ったので、まずは納豆からチャレンジしてみます。

（記録：高見元久／田中萌）



第39回 『大豆選別、小麦製粉、精蕎麦』

- と き 2010年2月13日(土) 9:30~17:30
- ところ 作業小屋 直売所裏の堆肥場
- 天 気 快晴 雨や雪
- 参加者 石田、磯、加藤、久保、佐々木(利)、高田(直)、高橋、高見(AM)、藤田(PM)、松本(純)、吉田(AM) 園主てつさん 合計12名

■活動内容

【午 前】

●黒豆選別

朝から雨やみぞれが降りしきる中、作業は小屋で行う。ストーブを焚いて環境を整えるも口数少なく、淡々と時が過ぎ、12時までには、黒豆スーパープレミアム 20ℓ選別完了。他に、味噌なら合格品 2ℓ、午後作業分合わせて計 3ℓ、残りの鳥餌品が 6ℓ、これで黒豆の選別は完了です。

昼は小屋の中で食べる。高田さんより、谷っ戸ん田産特選大豆五目豆をごちそうになる。料理の腕と大豆の品質の相乗効果により、たいそう美味であるとの評判でした。

佐々木さんより、ユウくんも食べない手作りゴマクッキーを所望。ユウくんがまたいで通るのはゴマが苦手なのであり、味はグッドである、大人のお菓子という評価でした。

また、高田さんより、コーヒー(夕方にはほうじ茶)の差し入れ、カセットコンロとゆきひら鍋も持参という念のよさでした。

【午 後】

●黒豆の選別(味噌なら合格品 1ℓ分)

●大豆の選別

作業場には久保コレクションによる BGM が流れる。大豆なのでザ・ピーナッツ、恋のフーガで能率アップ。17時10分に終了。

●小麦の製粉

奥の作業小屋で「夢しほう」の製粉

●蕎麦の精製

グリーンより「ながら精米機」を借用、1回につき約20分作動させる。直売所裏に運んでトウミにかけて、擦れて剥がれた表皮やごみを飛ばす。

使用した道具と機械

ふるい、ざる、船(以上大豆選別) 精米製粉機、ながら精米機、トウミ

谷っ戸ん田ブランド農産品と加工品の販売開始

- ・谷っ戸ん田うどん 1,000円/kg 先週より好評発売中
- ・谷っ戸ん田特選大豆 700円/kg (会員特別価格 500円/kg)

その他特記事項

「竹林がいくら俺を呼んでも」最後まで雨雪は止まず、竹伐りは断念しました。
てつさんが手を真っ赤にして掘り出した「だいこん」をいただきました(感謝)。

(記録：高橋広明)



第40回 『味噌づくりと竹林の伐採整備』

- と き 平成22年2月20日(土) 9:30~17:00+α
■ところ 納屋・竹林
■天 気 晴れ
■参加者 園主(テツさん)、テツさんの甥っ子、石田、久保、坂本、▲柴田、△高田夫、高田マダム、
△松尾、△松本妻、大場さん・大場姉妹、△吉田、▲加藤
(14名、△は午前の参加、▲は早退)
※今回最後まで参加はテツさん、石田、久保、坂本、高田、大場、大場姉妹。
※石田がグリーンで道具を片付け終えたのは18:15。

【午前・黒豆味噌づくり、竹の伐採】

- 石田・高田夫妻・松本・大場・大場姉妹が前日グリーンで煮込んだ黒豆8kgの味噌づくり。加藤は一晩水に浸けた白大豆を柔らかくなるまで煮込む。テツさんが切った改良型ドラム缶のかまどが威力を発揮する。丁寧にあくをすくう。味噌づくりも大場姉妹の活躍もあって子どもを含めた少人数でも順調に進む。
- 竹林に向かったのはテツさんを先頭に、久保・坂本・柴田・松尾・吉田。テツさんがチェーンソー(竹を切る場合は刃が異なる)で伐採した竹の枝を鉋ではらい、枝はチップパーで粉碎し、幹の長さを切りそろえる。竹が密生していて端から攻めていかないと倒すことができず、斜面での作業ということもあり、けっこう大変である。

【昼食・納屋前で】

- 昼食は納屋の前で。石田さん持参のねぎ・高田さん差し入れの豆腐・去年の黒豆味噌・今回の黒豆を煮た呉汁で作ったお味噌汁が大変美味。石田さん調達のふきのとうを散らし、高田さん持参の紙コップでいただく。春の香りと豆の甘さ、四杯もお代わりした強者もあり。
- 以前漬けた沢庵を味見する。やや塩けが強いものの美味。昼食にみんなでいただく。

【午後・白大豆味噌づくり、竹の伐採の続き】

- 午後は煮上がった白大豆8kgの味噌づくり。3時頃には終了。その後、高田さん持参のもち粉で白玉を作り、黒豆の呉汁に塩・砂糖で味付けしたお汁粉を最後に残ったメンバーでいただいた。
- 竹林の作業を継続する。だんだん調子が出てきて午前よりペースアップ。最後まで参加した坂本さん、お疲れ様でした。バイクの運転、大丈夫でしたか。
- テツさんから桜餅の差し入れがあり、松本さんのチョコもおいしかった。

【その他】

- 今日はお土産に沢庵をいただく。



(記録：加藤 彰)

大豆を煮るためにドラム缶の
切断からスタート。



「どうです、お味は？」「竹じゃなくて、松だね」



一日切って、目標の5分の1というところでしょうか。

第41回 『竹林整備/竹の伐採作業（皆伐）』

■と き 平成22年3月13日（土） 9:30～17:00

■ところ 竹林

■天 気 晴 ぽかぽか陽気/時折突風は吹いたが。

■参加者 石田、加藤、久保、坂本、佐々木親子（3名）、柴田、高橋、高見（午前中）、
田中もえ（午前中）、松本夫婦、野地（ハンモック）、テツさん。 計15名

■活動内容

★午前 9:45スタート

〈竹林〉 参加者全員

テツさんと石田さんがチェーンソーにて、前回皆伐した先の竹を、竹の生え方を見ながら順々に伐採。倒れた竹を一定の長さに分断し、枝を払って貯木（竹）。払った枝等を久保さんと加藤先生がチップパーで粉碎。

★昼

ハンモック・カフェのメニュー

・メイン：菜の花ごはんとかま汁。

・サイド：梅酒のパウンドケーキ・みかん・ネーブル・レモン・ジャム3種（キウイ、梅、はっさくのマーマレード）。

・飲み物：ベトナムコーヒー・さくら紅茶。

*菜の花ごはんは、白米と赤米に菜の花と鮭を混ぜて炊いたもの。

汁は、菜の花と厚揚げの味噌汁？（その場で野地さんに聞けば良かったのですが）。

*食後は、ハンモックでの昼寝（数名）や、談話。

（野地さんから、屋久島みやげの芋飴の差し入れあり）

★午後

〈竹林〉 参加者全員 （高見さん・もえちゃんを除く。柴田君は予定をドタキャンされたとかで、午後も参加）

午前中に引き続き竹林皆伐作業。途中坂本さんがテツさんからチェーンソーを借りて、伐採した竹の分断作業を行う。（就農の準備かな？）

午後の休憩には、テツさんからガリガリ君の差し入れあり。（アイスクャンデーの美味しい季節になってきました）

竹林作業終了後、椎茸の収穫作業を行う。

17:00過ぎに全作業終了。

帰りにはテツさんから椎茸を頂きました。また、私事ですが、作業中にポケットに入れていた車のキーを失くしてしまい、皆さんに大変ご迷惑をお掛け致しました。折角明るいうちに作業終了したのに、一緒に探して頂いて、結果的には見つかりませんでした。嬉しかったです。

ただ、今後は自分の持ち物でも、失くすと皆さんにご迷惑が掛かるんだと言う事を肝に銘じました。（帰りはテツさんに軽トラをお貸し頂いて、申し訳なく、また感謝でした） 以上

（記録：松本 純）



斜面での作業は疲れます。



「倒すぞっー、気をつけろ！」

「菜の花ランチうまい！ 春だなあ」



「タケヤブヤケタ？」
「先生、どうしたんですか？」
「ちょっと耳鳴りが…」



枝にしがみついたままのヒヨドリの謎の死。

手前は伐採後。
奥は次週へ。



第42回『味噌づくりと竹林の伐採整備、しいたけ菌打ち等』

■と き 平成22年3月20日（土）9：30～17：30

■ところ 納屋とその周辺・竹林

■天 気 晴れ（風は強かったが気温があがり、少し動くと汗ばむような陽気）

■参加者 石田、磯、加藤、霧生、久保、坂本、柴田（午前）、高見、松尾（午前）、吉田
ゲスト：石塚、菅野 合計12名 + 園主

■活動内容

【午前】

- ・白大豆の味噌づくり：石田、石塚、加藤、菅野、松尾、霧生
前日にグリーンで煮てくださった大豆 5.5Kg をマッシャーにかけ、米糍と塩を混ぜ込んで樽に詰めた。
（11時半前には終了し、竹林グループへ合流。）
並行して、一晩水に浸けた大豆をかまどで煮込む。
- ・竹の伐採：磯、久保、坂本、柴田、高見、吉田
3回目の竹林の整備。チェーンソーで竹を伐採。長さをそろえてカットした後、はらった枝をチップで粉砕。

【昼食】

- ・納屋前の畑に「豆きち号」開店。ハンモックはビニールハウス内で展開。
- ・ハンモックランチ：しゃくし菜ごはん和新玉ネギの親子煮
ベトナムコーヒー、桜紅茶、青島みかん、ネーブル他3種のマフィン等
- ・石田さんからチョコレートの差し入れ有り。

【午後】

- ・白大豆の味噌づくり：石田、石塚、加藤、吉田、霧生
加藤先生がかまどでじっくり煮てくださった大豆を使い、午前と同じ手順で味噌づくり。順調に進み、片付けを含め15時頃には終了。
- ・竹の伐採：磯、久保、菅野、坂本、高見
急斜面での作業継続。重労働だが、畑右側の際から10m以上伐採が完了した。そのまま畑としての使用は出来ないそうだが、畑の持ち主の方は喜んでくださっているとのこと。
筍がいくつも顔を出していたので、感謝しつつ収穫させていただいた。
- ・しいたけ菌打ち：石田、石塚、加藤、吉田、霧生
テツさんが購入してきたというホダ木一本につき、電動ドリルで35～45個程度の穴をあけ、しいたけのコマ（種菌）を打ち込む。ホダ木約50本でコマ2000個使用。
ホダ木はあと200本程度あるので、残りは次週に打ち込むこととなる。

【その他】

- ・その後、味噌作りに使用した機材等は、石田さんがグリーンへ持ち帰って片付けてくださった。
- ・谷戸の奥には菜の花畑、納屋へ向かう坂道のこぶしの花が満開。春を満喫した一日だった。
- ・以前、漬け込んでいたたくあん、筍、畑の大根等を土産に頂戴した。（感謝）

（記録：霧生）



「久しぶりだね」
「先生のように、毎日が日曜日じゃないんで…」



竹林整備の3回目。
かなりキレイになりました。

「どうです、ハンモックは？」
「ゴクラク、ゴクラク」



いつも美味しいハンモックランチ。
でも、みかんは別売りです。



「タケノコを見つけましたぁ。感動です！」



「昨日はゴルフボール打ってました。今日はコマ打ってます」

第43回 『シイタケのコマ打ち、竹林の整備、タケノコ掘り、ネギ畑の草取りなど』

★と き：平成22年3月27日（土）10時～17時45分

★ところ：納屋の周辺、竹林、谷戸入口の畑、ビニールハウス奥の畑

★天 候：晴れ（風が冷たく、日差しがない届かないところは寒かった。日中は暖かかった。）

★参加者：石田（午前遅刻、昼から中抜け）、加藤（午前まで）、霧生（午前まで）、高田夫妻、高見（午前まで）、松本夫純、百崎夫妻+まる、鈴木（園主、午後より） 10人+子ども1人

★作業内容

●午前 10時～

・シイタケのコマ打ち：加藤、霧生、高田夫妻、高見、松本純、百崎一家

小屋前水道脇でブルーシートを敷き、シイタケのコマ打ちをする。90センチほどのナラなどのホダ木1本につき40ヶ前後の穴をドリルで穴を開ける係と、穴にきのこ種菌を小槌で打ち込む係に分かれて作業。日差しがあつて暖かいが、風が冷たい。皿に取ったコマが乾かない様に日陰に置きながら作業をする。

ドリル2本、小槌5本。ドリルがもう一つ欲しいところ。

穴を開けるときは、原木の太さを見ながらおこなう。直系10センチほどの標準サイズで8個×3列程度。最後に原木が余ったり、コマが余ることの無いように特に後半は慎重に加減しておこなう。

テツさんから電話で言われて「穴はもう少し少なくていい」と言ったが、「ピッタリ終わらせよう」と言えば良かったですね。日本語は難しい。（石田談）

・赤米、強力粉（二種類）の仕分け 石田、高田直子

赤米一約5キロ、パン用の小麦粉「ゆめしほう」一約1キロ

●昼休み

午前帰り組は竹林へタケノコ掘りに。なかなか戻らず。あ、無事タケノコを抱えて、戻って来ました。皆、笑顔。恵みに感謝です。

●午後

・コマ打ちの続き。高田裕司、松本純、百崎一家

1袋/1,000個のきのこ種菌を全部で6袋/6,000個打ち切る。打った木は、170本前後でしょうか。コマが無くなったので終了。ホダ木の残りは30本くらい？

ドクターモリのきのこ菌種 品種：JMS 5K-16 主原料：国内産ブナ 副原料：有機砂糖、穀類

・竹林の整備：高田夫妻、松本純、百崎一家

道を渡った竹林へ移動。タケノコ用のクワの代わりに、大きいクワやつるはし、先の尖ったスコップを持っていく。

急斜面に落ちている竹（先週に片付け切れなかった竹）を下の方に集める。なかなかの重労働。最後にはだいぶ片付いた。

・タケノコ掘り：高田夫妻、松本純、百崎一家

掘りだす際に、松本さんのツルハシが活躍していました。やっぱり専用の道具が無いと作業が捗らないのですね。20本くらい？掘りあてる。ありがとうございました。

・谷戸入口のネギ畑で草取り：石田、高田夫妻、松本純、百崎一家、園主

ネギ畑の雑草を抜く。ペンペン草などけっこう生えている。タケノコと違って、すぐ引っこ抜けるので嬉しい。じゃんじゃん抜く。

・ビニールハウス奥 大根畑のマルチ剥がしと大根抜き：石田、高田夫妻、松本純、百崎一家

トウが立った大根を抜く。マルチ7列分あり、約1,000本ほど。抜いた後、マルチを剥がし丸めて破棄。大根も破棄。勿体ないお化けが出そう。

・もっと奥の菜の花畑

スーパーで買うと少しの量でお高い野菜「菜の花」。ぼきぼき折って花束に。贅沢なお土産を頂きました。ありがとうございました。

（記録：百崎恵美）



前週に続きシイタケのコマ打ち。
ドリルがもう一つあるとはかどるのに…。



「バッチリ撮ってくれよ！ HPに載せてもらおうから」



「すみませ〜ん。タケノコ掘って、
午前で作業はあがりま〜す」



「なのは〜な、ばたけ〜に♪」



竹林整備は今期で終りではなく、
まだ続くのでした…。



3年目のな～に谷っ戸ん田が終了しました。

43回の作業、そして番外編が3回(暑気払い、研修ツアー、餅つき&忘年会)。

2007年度の1年目が、26回の作業と番外編2回。

そして、2008年度の2年目が、35回の作業と番外編5回。

この3年間でメンバーは確実に成長し、更なる高い目標を掲げて4年目をスタートします。

4年目のな～に谷っ戸ん田にご期待下さい。



谷戸という場所は気持ちいい。
仲間との農作業はたのしい。
本格的な農作業はかっこいい。
自らかかわった作物はおいしい。
自給するって気分がいい。
な～に谷っ戸ん田はいーことやっとなだ。